

単位互換講座を受講するにあたって

単位互換講座は、神戸研究学園都市大学交流推進協議会に加盟している神戸芸術工科大学、神戸市外国語大学、兵庫県立大学神戸商科キャンパス、流通科学大学、神戸市立工業高等専門学校、神戸市看護大学が「単位互換に関する協定」を締結し、他大学の提供する科目も受講できるとともに、取得した単位を自分の大学の正規単位として認定できるようにしたものです。

単位互換講座の受講・認定については、大学により異なりますので、事前に自分の大学の教務関係の窓口で確認した上で手続きを行ってください。

単位互換講座には、「特別科目」と「学内提供科目」の2種類があり履修や試験等の規則が異なりますので注意してください。

単位互換講座は、専門に関する分野や異なった分野の授業を受講することで、自分の専門分野に厚みと幅を加えることができます。さらに、他大学の先生の授業を受けたり、他大学の学生と机を並べて勉強することにより、新たな刺激を受けられるなど学生生活を充実したものにすることができます。ぜひ積極的にチャレンジしてください。

また、特別科目の一部は、神戸市内にある公・私立24高等学校の高校生に、進路選択及び教養・知識の向上を目的に、「ユニティ高大連携講座」として開講し、高い評価を得ています。本年度は特別科目19科目のうち13科目をユニティ高大連携講座として提供します。

特別科目

UNITYの教室で開講される科目です。

開講期間(試験日を含む)は、所属大学のものとは異なりますので、注意してください。

- ・前期 4/10(月)～8/4(金)
- ・後期 9/25(月)～12/22(金)、1/5(金)～2/5(月)

上記の日程で15回の講義と試験を実施します。

*休講等により補講を実施する場合には、担当教員が指示します。

学内提供科目

科目開設大学のキャンパスで履修する科目です。

他大学のキャンパスに行くことによって、新しい発見や幅広い友人関係ができます。ぜひ他大学のキャンパスも体験してみてください。開講期間や時間、休講基準、試験の実施方法等は科目開設大学の規定に基づきます。受講生は、必要な規則の説明書や学年暦などを科目開設大学より受け取るか、またはユニティのウェブサイト(<https://www.unity-kobe.jp/gokan-gakunai>)や各大学のウェブサイトを開覧して、その内容をよく確認してください。特に休日に授業が行われる場合などがありますので、ご注意ください。

※開講期間、曜日及び時間は所属大学を通じて3月末に配布する「単位互換講座時間割」をご覧ください。

出 願 手 続 き

1. 申込者の資格

- ①神戸芸術工科大学、神戸市外国語大学、兵庫県立大学神戸商科キャンパス、流通科学大学、神戸市立工業高等専門学校、神戸市看護大学、兵庫県立大学明石看護キャンパスの学生で、自分の大学の許可があれば誰でも受講資格があります。
ただし、科目によって既履修科目や対象学年等の条件がありますので、「科目概要(シラバス)」で確認をしてください。
- ②大学によって、単位認定が可能な科目や単位数等が異なります。詳細については自分の大学の教務関係窓口やガイダンス等で確認をしてください。

2. 出願の方法

- ①自分の大学の教務関係窓口で、前期科目・後期科目とも4月初め自分の大学で定められた期間内に自分の大学の指示に従って手続きをしてください。なお、後期科目で定員に余裕のあるものについては、7月頃に再募集をします。再募集をする科目については自分の大学で確認をしてください。
- ②必要な提出書類は「ユニティ単位互換講座科目履修出願票」です。記入例を参考にして、1科目につき1枚記入をしてください。2科目以上出願する方は、用紙をコピーして使用してください。
- ③学生の受講料は無料です。

3. 履修許可及び履修手続きについて

- ①科目開設大学が「ユニティ単位互換講座科目履修出願票」に基づいて選考を行います。
- ②選考の結果は、4月21日(金)に自分の大学から通知されますので、確認をしてください。また、後期科目の再募集選考結果は、9月29日(金)に通知されます。
- ③前期については、履修許可の確定が前期授業開始後になりますので注意してください。
- ④科目によっては科目開設大学での手続きが必要な場合があります。その場合は、科目開設大学の指示に従って手続きをしてください。

4. 学籍等の取扱い

- ①履修を許可された学生は、科目開設大学の「特別聴講学生」または「科目等履修生」となります。
- ②講義を受ける際の注意や試験の実施方法等は、科目開設大学の指示に従ってください。
- ③単位の認定や成績は、自分の大学を通じて連絡されます。

出 願 票 記 入 例

ユニティ単位互換講座

科目履修出願票

年 月 日提出

学生情報	所属	大学・高専	学部・専攻科	学科・専攻	学年	学籍番号	
		ユニティ大学	UNITY 学科	UNITY 学科	2	B 67543	
	ふりがな	ガクエン トシオ				性別	任意記入
	氏名	学園 とし男					Ⓐ・女
申込科目	科目開設 大学・高専	流通科学 大学			科目 区分	() 特別科目 () 学内提供科目	
	科目 名	都市・地域計画					
	授業時間	木 曜日 3 時限	担当教員				
選考結果		※ 可 ・ 否		備考			

※↑記入しないこと

志望理由

志望理由として当てはまる項目すべてに☑を入れてください。

- ☐ 単位互換講座に興味があったから
☐ 他大学の授業に参加してみたかったから
☒ 興味のある科目だったから
☐ 就職希望分野に役立つ科目だったから
☐ その他 ()

【自由記載】

我々は何も意識することなく都市・地域で生活・活動を行っていますが、そこにルールと
 して「都市計画法」が存在したことに興味を持ちました。都市・地域が抱えている問題や
 自分個人として都市・地域について抱く問題点をこの講義を受けることで少しずつ理解を
 深めて自分なりに次世代の都市・地域の計画及び、問題点の解決を深めていきたいです。

【注意】 1 科目 1 枚で記入してください。2 科目以上履修する場合はコピーしてください。

特 別 科 目

履修上の注意

1. 休講について

14 時現在、下記の気象警報等の発令または運休区間がある場合には休講となります。

①神戸市に暴風警報または大雪警報が発令されている場合

②神戸市に土砂災害警戒情報が発表されている場合

③神戸市に特別警報が発令されている場合

④神戸市営地下鉄西神・山手線に運休区間がある場合

⑤大阪-姫路間で次のいずれかに該当する場合

(1) JR 西日本 (大阪-神戸間)、阪急電鉄、阪神電鉄のすべてに運休区間がある場合

(2) JR 西日本 (神戸-姫路間)、山陽電鉄のすべてに運休区間がある場合

(ただし、天候事情等により通学が不可能もしくは危険なために欠席した場合は、欠席届を学生から講義担当教員に提出)

※各大学及び UNITY の掲示板、ホームページで受講生に通知します。(https://www.unity-kobe.jp)

2. 受講希望者が極端に少ない場合は開講しないことがあります。

3. 使用教科書等については、シラバス及び講義内での教員の指示に従ってください。

試験について

1. 試験日及び試験時間については、講義担当教員が講義内で説明します。

2. 受験資格や遅刻の取扱等については、科目開設大学の規則に基づくこととし、講義担当教員が講義内で説明します。

3. 追試験は、原則として実施しませんので必ず指定された日時に受験してください。

4. レポートの提出については、「レポート提出票」を付けて締切期日までに UNITY 事務室に提出してください。「レポート提出票」は UNITY 事務室にあります。

特 別 科 目

(注1) ※印は高大連携講座です。

(注2) 教室は、UNITY の案内板を見てください。

開講 時期	曜 日	科 目 名	単 位 数	担当 大学	担 当 教 員	時 間	掲 載 頁
前期	月	保険論 ※	2	県 大	田中 隆 教授	16:30 ～ 18:00	14
		手話言語学	2	高 専	今里 典子 教授	16:40 ～ 18:10	21
		英語圏の文化と社会 1 ※	2	外 大	中沢(並河) 葉子 教授	17:50 ～ 19:20	8
	火	環境デザインとはⅡ ※	2	芸工大	三上 晴久 教授 他 4 名	16:20 ～ 17:50	6
		政府会計論 ※	2	県 大	都築 洋一郎 准教授	16:30 ～ 18:00	15
		臨床心理学入門 1 ※	2	外 大	金沢 晃 准教授	17:50 ～ 19:20	9
		地域学 ※	2	高 専	八百 俊介 教授	18:20 ～ 19:50	22
	水	アジア史	2	流科大	辻 美代 教授	18:20 ～ 19:50	18
		金融政策論	2	流科大	羽森 直子 教授	18:20 ～ 19:50	19
		女性と女性の健康 ※	1	看護大	高田 昌代 教授 他 4 名	18:20 ～ 19:50	25
	木	現代思想文化論	2	高 専	未定	18:20 ～ 19:50	23
	土	模擬国連演習 (JUEMUN)	2	外 大	Michael Hollenback 准教授 他 2 名	9:00 ～ 12:00	10
後期	月	リスクマネジメント論 ※	2	県 大	田中 隆 教授	16:30 ～ 18:00	16
		英語圏の文化と社会 2 ※	2	外 大	中沢(並河) 葉子 教授	17:50 ～ 19:20	11
		証券論 ※	2	流科大	福田 司文 教授	18:20 ～ 19:50	20
		応用倫理学 ※	2	高 専	未定	18:20 ～ 19:50	24
	火	臨床心理学入門 2 ※	2	外 大	金沢 晃 准教授	17:50 ～ 19:20	12
		社会調査論	2	県 大	川向 肇 准教授	18:20 ～ 19:50	17
	水	医療通訳・コーディネーター入門	2	外 大	畑上 雅朗 特任准教授 他 12 名	18:20 ～ 19:50	13
	金	照明デザイン ※	2	芸工大	相澤 孝司 教授	16:20 ～ 17:50	7

2023 年 1 月末 現在

注意事項

対面での授業を予定していますが、新型コロナウイルスの感染状況等によっては急遽、学期の途中も含め、授業の実施方法が変更になる場合があります。また著しく状況が悪化した場合は、非開講もあり得ます。

大 学 名	神戸芸術工科大学	担 当 教 員 氏 名	三上 晴久 教授 萬田 隆 教授 畑 友洋 准教授 川北 健雄 教授 藤山 哲朗 教授
開 講 期 間	前期 (4/11 ～ 7/25)	開 講 曜 日・時 間	火曜日 16:20 ～ 17:50
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	20 名程度

科 目 内 容	近現代の建築とその設計者、住宅の設計、建築空間の構成、建築の表現、建築設計のあり方、構造デザインなど、さまざまな視点から環境デザインに関する講義を展開する。		
	各回内容		
	1	建築空間のデザイン 1 設計のコンテキスト (畑)	
	2	建築空間のデザイン 2 設計のコンセプト (畑)	
	3	建築空間のデザイン 3 設計のプロセス (畑)	
	4	建築の構造について (萬田)	
	5	建築設計における構造デザイン (萬田)	
	6	構造デザインの実例 (萬田)	
	7	表現としての建築その 1: モデル (藤山)	
	8	表現としての建築その 2: ドローイング (藤山)	
	9	表現としての建築その 3: 言葉 (藤山)	
	10	近代建築とは、近代建築の巨匠 -1 ル・コルビュジエ (三上)	
	11	近代建築の巨匠-2 ミース・ファン・デル・ローエ (三上)	
	12	近代建築の巨匠-3 フランク・ロイド・ライド (三上)	
	13	空間の構成その 1: 点・線・面 (川北)	
	14	空間の構成その 2: 空間の限定 (川北)	
	15	空間の構成その 3: 内部と外部 (川北)	

評 価 方 法 : 授業の終了前に 10 分間程度の時間を確保して、レポートを書いて提出してもらいます。
異なる提出方法の場合には、各回担当の教員から別途指示します。
各回のレポートを個別に採点し、全レポートの採点を総合して学期末評価をおこないます。

教 科 書 : 各回担当教員が提供するオリジナルテキスト

参 考 図 書 : 『建築のかたちと空間をデザインする』フランシス・D.K・チン彰国社 (第 13 回、第 14 回の講義用)

履 修 に あ た っ て : ビジュアル資料をたくさん用いて、環境デザインの幅広い学問分野を紹介するオムニバスの講義です。
さまざまなまちや建築を、スクリーンを使ってビジュアルに紹介します。

照明デザイン *Lighting Design (seminar)*

2 単位

大 学 名	神戸芸術工科大学	担 当 教 員 氏 名	相澤 孝司 教授
開 講 期 間	後期 (9/29 ～ 12/22 ・ 1/12 ～ 1/26)	開 講 曜 日 ・ 時 間	金曜日 16:20 ～ 17:50
対 象 学 年	2 年次以上	募 集 人 員	20 名程度

科 目 内 容	本講義では照明デザインに必要な基礎知識として、照明と光・生理・用語・光源について解説する。つづいて、照明器具と照明手法及び照明の歴史を学習する。照明デザインの事例として住宅・施設・環境と空間別に解説し、さらに心理・イベントなど行為と照明との関係にも踏み込んでいく。照明メーカーのデザイン部門で業務していた経験を活かして、照明デザインの基本的な知識と手法等、近年の施工例を解説しながら、具体的に講義する。		
	各回内容		
	1	オリエンテーション	
	2	照明の基礎 1 照明と光・生理について	
	3	照明の基礎 2 照明用語の解説	
	4	照明の基礎 3 照明の光源について	
	5	照明の基礎についての理解度を確認する	
	6	照明の歴史 炎のあかりから電気による照明そして LED について	
	7	照明器具と照明手法器具と方法の名称と世界の照明器具について	
	8	住宅照明 身近な住宅を照明から解説 (自室の照明調査レポート)	
	9	施設照明 公共空間から商業空間まで実際の現場空間を紹介	
	10	環境照明 神戸の三宮周辺地区の夜景を解説	
	11	照度計算について光束法の計算方法とは	
	12	照明空間とイメージについて SD 法による照明と心理の関係とは	
	13	照明と社会 照明イベントの紹介と光害について	
	14	イサム・ノグチを照明アーティストの視点で考えてみる	
	15	まとめ 照明の基礎を理解し、到達目標を確認する	

評 価 方 法：レポート・課題提出 40%、小テスト・基礎理解度テスト 60%総合的に評価

教 科 書：オリジナルテキスト (レジュメ配布)

参 考 図 書：

履 修 に あ た っ て：街のあかりからキャンドルのあかりまで、照明デザインの領域は無限に広がっています。さらに 21 世紀の光源 LED の登場により、照明光源は歴史的な転換期を迎えています。デザインの基礎知識は要りません、照明デザインの事例を中心にやさしく解説します。

大 学 名	神戸市外国語大学	担 当 教 員 氏 名	中沢(並河) 葉子 教授
開 講 期 間	前期 (4/10 ～ 7/31)	開 講 曜 日・ 時 間	月曜日 17:50 ～ 19:20
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	30 名程度

科 目 内 容	英語圏の成立過程を歴史的背景を軸に、英語圏に共通する特色と多様性について学ぶ。 同時にイギリスで発達した議会制度や民主主義の理念がどのように英語圏の各地域に広がっていたのかを考えると同時に、「民主主義」や「自由」、「人種」、「ジェンダー」の概念の成立についても具体的な歴史的事象に即して考える。	
	各回内容	
	1	ガイダンス
	2	英語圏の歴史：英語のはじまり
	3	複合国家イギリスの成立と英語 (1)
	4	複合国家イギリスの成立と英語 (2)
	5	イギリスにおける議会制度の成立
	6	身分制と議会制度
	7	英語圏の広がり (1) 環大西洋世界の成立
	8	環大西洋世界の社会 (2) 新しい経済圏
	9	年季奉公人と奴隷
	10	「自由」なのは誰？
	11	「黒人」とはだれ？
	12	反奴隷制運動と近代的価値規範
	13	カナダ
	14	オーストラリア
	15	試験

評 価 方 法：試験により評価する。

教 科 書：フィリップ・レヴァイン『イギリス帝国史-移民・ジェンダー・植民地へのまなざしから-』 昭和堂、2021 年

参 考 図 書：授業の中で随時紹介する。

履 修 に あ た っ て：各回の授業は相互に関連しているので、毎回出席のこと。

臨床心理学入門 1 *Introduction to Clinical Psychology 1*

2 単位

大 学 名	神戸市外国語大学	担 当 教 員 氏 名	金沢 晃 准教授
開 講 期 間	前期 (4/11 ～ 7/25)	開 講 曜 日・時 間	火曜日 17:50 ～ 19:20
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	教室収容可能な人数

科 目 内 容	臨床心理学は、心理的問題を抱える個人の状態を理解 (アセスメント) し、適切な援助を行うための基礎となる学問です。この講義では、精神疾患を中心に取り上げ、理解を深めます。		
	各回内容		
	1	ガイダンス-臨床心理学とは-	
	2	統合失調症 (1)-概念の変遷と疫学-	
	3	統合失調症 (2)-症状と類型、治療-	
	4	統合失調症 (3)-事例を通して学ぶ-	
	5	依存症 (1)-物質依存と行動依存-	
	6	依存症 (2)-世代間伝達の問題-	
	7	依存症 (3)-電子機器依存とその仕組み-	
	8	試験 1 と解説	
	9	摂食障害 (1)-摂食障害と症状-	
	10	摂食障害 (2)-摂食障害とパーソナリティ-	
	11	気分障害 (1)-うつ病と症状-	
	12	気分障害 (2)-うつ病と治療-	
	13	思春期のこころの発達 (1)-自立と仲間関係の構築-	
	14	思春期のこころの発達 (2)-脳の発達と変化-	
	15	試験 2 と解説	

評 価 方 法：講義中に行う試験で評価する。

教 科 書：指定しない。

参 考 図 書：講義内で紹介する。

履 修 に あ た っ て：講義中に課す課題に積極的に取り組むこと。私語は差し控えること。講義中のスマホの使用は認められません。

模擬国連演習 (JUEMUN) *Studies in Japan University English Model United Nations* 2 単位

大 学 名	神戸市外国語大学	担 当 教 員 氏 名	Michael Hollenback 准教授 Lori Zenuk-Nishide 教授 Yumi Matsuda 講師
開 講 期 間	前期 (4/15 ~ 7/15)	開 講 曜 日 ・ 時 間	土曜日 9:00 ~ 12:00
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	20 名 (最小開講人数: 10 名)

科 目 内 容	In Model United Nations (MUN) class, students will represent a country and simulate being a United Nations Ambassador in the United Nations Children's Fund (UNICEF) on the topic of "Realizing the Rights of all Children and Adolescents". In class, students will learn about the United Nations, their own assigned country, and the JUEMUN rules of procedure. Students will be responsible for researching their country, the agenda topics, and their countries' position on the agenda. Students will also learn how to write UN resolutions, prepare speeches, and negotiate in groups. In July 2023, students in the class will join the 14th Annual Japan University English Model United Nations (JUEMUN) at Kobe City University of Foreign Studies with over 150 students from universities in Japan and abroad. For conference information, see juemun.org. <u>The application deadline is April 7th.</u> Successful applicants will be notified on April 10th. Successful applicants must commit to attending all class sessions and completing all necessary research for the course.		
	各回内容		
	1	Model UN Background; Country & Agenda Research	4/15 (Sat) 09:00-12:00
	2	Formal Sessions: Roll Call & Motions	4/22 (Sat) 10:30-12:00
	3	JUEMUN Conference Flow	4/22 (Sat) 09:00-10:30
	4	Informal Sessions: Discussion & Debate	5/13 (Sat) 09:00-10:30
	5	Making Speeches	5/13 (Sat) 10:30-12:00
	6	Writing Clauses	5/27 (Sat) 09:00-10:30
	7	Writing Working Paper	5/27 (Sat) 10:30-12:00
	8	Amendment Process	6/10 (Sat) 09:00-10:30
	9	Voting Procedure	6/10 (Sat) 10:30-12:00
	10	Model Conference Session 1	6/24 (Sat) 09:00-10:30
	11	Model Conference Session 2	6/24 (Sat) 10:30-12:00
	12	JUEMUN Conference - Day 1 - July 7th	7/7 (Fri) 10:00-20:00
	13	JUEMUN Conference - Day 2 - July 8th	7/8 (Sat) 09:00-20:00
	14	JUEMUN Conference - Day 3 - July 9th	7/9 (Sun) 09:00-17:00
	15	Debriefing & Reflection on JUEMUN	7/15 (Sat) 09:00-10:30

評 価 方 法 : 50% of the course work will be on research and assignments for MUN preparation, and 50% will be on the conference participation and debriefing.

教 科 書 : No Textbook

参 考 図 書 : Materials will be provided by professors

履 修 に あ た っ て : 1) Fees

The JUEMUN conference participation fee is 5,000 yen that covers participation fees and some meals. Students are responsible for organizing their own transportation and accommodation to and from Kobe City University of Foreign Studies for the conference dates (July 7th-9th). Fees are due Friday May 12th by an individual bank transfer. Conference fees cannot be refunded. There are no additional class fees.

2) Participation Requirements

The language of the conference is ENGLISH and students must be able to negotiate and write about United Nations topics. A minimum English proficiency level is required.

Please submit copy of test scores with application.

(1) English Proficiency Levels: TOEIC 750 or higher, IELTS 5.5 or higher, TOEFL 76 or higher, EIKEN 2 級 or higher

3) Conference Attendance

The classes are preparation for conference attendance, which is mandatory. Any missed conference days will result in a failure for the course. Assistance with excused absences for Friday, July 7th will be provided by Kobe City University of Foreign Studies. Please check your schedule to make sure all three conference days can be attended before applying.

大 学 名	神戸市外国語大学	担 当 教 員 氏 名	中沢(並河) 葉子 教授
開 講 期 間	後期 (9/25 ～ 12/18 ・ 1/15 ～ 1/29)	開 講 曜 日 ・ 時 間	月曜日 17:50 ～ 19:20
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	30 名程度

科 目 内 容	19 世紀半ば以後を中心に英語圏を結びつけるさまざまなネットワークの発達を考え、英語圏の文化と社会の一体性と多様性を学ぶ。 また、「英語圏の文化と社会 1」に引き続き、「自由」や「人種」、「ジェンダー」の概念が英語圏のなかでどのように成立してきたのかを考える。		
	各回内容		
	1	ガイダンス	
	2	英語圏を結びつけるもの－ヒト・モノ・カネの流れとネットワークの形成－	
	3	交通網の発達－鉄道・航路の発達－	
	4	情報網の発達	
	5	投資とイギリス帝国	
	6	自由主義と新しい価値	
	7	ジェファースンの娘たち 奴隷制と家族	
	8	ジェンダーとセクシュアリティ	
	9	ヒトの流れ－移民と英語圏の拡大－	
	10	英語圏における戦争の記憶 (1)	
	11	英語圏における戦争の記憶 (2)	
	12	英語圏の広がりとは多文化主義	
	13	移民国家イギリス	
	14	イギリスにおける多文化主義とその課題	
	15	試験	
	16	まとめ	

評 価 方 法：試験により評価する。

教 科 書：フィリップ・レヴァイン『イギリス帝国史－移民・ジェンダー・植民地へのまなざしから－』、昭和堂、2021 年

参 考 図 書：とくに指定しないが、授業の中で随時紹介する。

履 修 に あ た っ て：毎回の授業はそれぞれ完結しているのではなく、全体が関連しているので、毎回出席すること。

臨床心理学入門 2 *Introduction to Clinical Psychology 2*

2 単位

大 学 名	神戸市外国語大学	担 当 教 員 氏 名	金沢 晃 准教授
開 講 期 間	後期 (9/26 ～ 12/12 ・ 1/16 ～ 1/30)	開 講 曜 日 ・ 時 間	火曜日 17:50 ～ 19:20
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	教室収容可能な人数

科 目 内 容	臨床心理学は、心理的問題を抱える個人の状態を理解 (アセスメント) し、適切な援助を行うための基礎となる学問です。この講義では、こころの発達を考える上で有用なアタッチメントについて学びます。また、前期と同様に、精神疾患について学び、また、映画を通してこころの発達について考えてみたいと思います。		
	各回内容		
	1	ガイダンスーこどもの発達概論ー	
	2	アタッチメントと愛情剥奪	
	3	アタッチメントパターン	
	4	問題のあるアタッチメント	
	5	感情の発達とアタッチメント	
	6	アタッチメント障害と少年犯罪	
	7	試験 1 と解説	
	8	青年期の発達とこころの病 (1) 境界性パーソナリティ障害	
	9	青年期の発達とこころの病 (2) 青年期の仲間関係	
	10	青年期の発達とこころの病 (3) 自立とアイデンティの確立	
	11	青年期の発達とこころの病 (4) 反社会性について	
	12	認知症 (1)ー認知機能と症状ー	
	13	認知症 (2)ー記憶についてー	
	14	認知症 (3)ー支援についてー	
	15	試験 2 と解説	

評 価 方 法：講義中の試験で成績を評価する。

教 科 書：指定しない。

参 考 図 書：講義内で紹介する。

履 修 に あ た っ て：講義中に課す課題に積極的に取り組むこと。私語など、講義の妨げ、他の受講生の迷惑になるような行為は差し控えること。講義中のスマホの使用は認められません。

医療通訳・コーディネーター入門 *Medical Interpreter and Coordinator* 2単位

大 学 名	神戸市外国語大学	担 当 教 員 氏 名	畑上 雅朗 特任准教授 他
開 講 期 間	後期 (9/27 ~ 12/13・1/17 ~ 1/31)	開 講 曜 日・時 間	水曜日 18:20 ~ 19:50
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	未定

科 目 内 容	日本在住の外国人の数が増加し、異なる言語や文化的背景をもつ人々が日本で医療サービスを受ける機会も増えています。その際、言語や文化の違いのために、さまざまな問題に直面します。こうした場面で活躍するのが医療通訳であり、医療通訳コーディネーターです。厚生労働省もその育成に非常に力を注いでいます。 この講座は神戸市外国語大学と神戸市看護大学が協力して実施するもので、語学を学ぶ人、看護学・医学を学ぶ人の接点となるユニークな授業です。将来医療通訳として活躍してみたい人、コーディネーターを志したい人、この分野に興味を持つすべての人のための入門講座で、今年度が11回目です。これまで上記2大学だけでなく、兵庫県立大学、神戸市立工業高等専門学校、流通科学大学、神戸芸術工科大学、また留学生・外国籍の人や大学院生の皆さんも熱心に受講して、毎回それぞれの視点からの活発な討議がおこなわれ、大きな成果をあげました。医療通訳の基本、医療制度や現状、医療英語などの講義に加えて、ロールプレイによる医療通訳の演習も行います。言語は英語を主体にしますが、ロシア語、中国語、スペイン語にも触れる機会があります(予備知識のない人も歓迎します)。		
	各回内容		
	1	(09/27)	通訳の基本：畑上 雅朗 (神戸市外国語大学)
	2	(10/04)	医療通訳の現状：庵原 典子 (医療通訳研究会 (MEDINT))
	3	(10/11)	医療制度：益 加代子 (大阪公立大学)
	4	(10/18)	外国人への感染症対策と保健所保健師：山下 正 (神戸市看護大学)
	5	(10/25)	母子保健 (妊娠・出産・育児)：嶋澤 恭子 (神戸市看護大学)
	6	(11/01)	チーム医療の中の通訳者：新垣 智子 (りんくう総合医療センター)
	7	(11/08)	英国医療の現場から：畑上 雅朗 (神戸市外国語大学)
	8	(11/15)	神戸における医療通訳：李 裕美 (多言語センター FACIL)
	9	(11/22)	医療英語：川越 栄子 (滋慶医療科学大学)
	10	(11/29)	演習 1 (英語)：松岡 綾子 (英語医療通訳者)
	11	(12/06)	演習 2 (中国語)：入江 沢竜 (中国語通訳者)
	12	(12/13)	演習 3 (ロシア語)：エレナ・バイビコワ (神戸市外国語大学)
	13	(01/17)	演習 4 (スペイン語)：松村 太 (バイエル薬品・医師)
	14	(01/24)	医療通訳とメモ取り：大西 亮平 (英語通訳者)
	15	(01/31)	まとめ：畑上 雅朗 (神戸市外国語大学)

評 価 方 法：平常点 (70%) およびレポート試験 (30%) で評価する。

教 科 書：指定しない。毎回プリントを配布する。

参 考 図 書：中村安秀・南谷かおり 編 (2013)『医療通訳士という仕事』大阪大学出版会
村松紀子・連利博・阿部裕 編著 (2015)『実践医療通訳』松柏社
その他、講義内で紹介する。

履 修 に あ た っ て：初回の授業では本講座全体の概要も説明するので、必ず出席すること。
演習では各言語に特有の医療通訳の現状を学びながら、ロールプレイなども行う。

大 学 名	兵庫県立大学	担 当 教 員 氏 名	田中 隆 教授 (t-tanaka@em.u-hyogo.ac.jp)
開 講 期 間	前期 (4/10 ～ 7/31)	開 講 曜 日・時 間	月曜日 16:30 ～ 18:00
対 象 学 年	2 年次以上	募 集 人 員	指定しない

科 目 内 容	(科目内容) 本講義の目的は、多様化・巨大化するリスクへの主要なリスク処理手段である保険について、保険理論を踏まえ、保険制度等との関連から、体系的に解明することである。さらに保険理論と保険制度を踏まえた保険について知識を習得するとともに、損保における再保険や主要な保険、保険制度の現状、生命保険、第三分野の保険等についての解説から、現在の保険に関する知識を習得することである。 本講義の到達目標は、リスクや保険について、保険理論・保険制度等を踏まえて、体系的・総合的な理解を可能とすることである。さらに、損害保険や生命保険等に関する解説から、現在までの保険に関する知識について、適切な水準で獲得することである。 (講義内容) 本講義では、リスクと保険全般に関する理論について講義を行い、保険制度や保険会社の企業形態等について解説を行う。また損害保険における再保険、自動車保険、生命保険と生命保険商品、第三分野の保険等について解説を行う。また下記のように、外部講師による損害保険、生命保険・生活保障に関する講義を予定している。なお、講義形式で授業を行う。不定期に出席をとる。		
	各回内容		
	1	ガイダンス (講義計画、成績評価基準等の説明)、リスクと社会	
	2	リスクについて	
	3	保険の歴史と特徴	
	4	保険技術と保険経営：保険の技術的仕組み、保険リスク、保険経営において等	
	5	保険サービスとその特質に関して：保険販売における特性、情報の非対称性等に関して	
	6	保険の分類について	
	7	保険契約について：損害保険、生命保険、消費者に関する観点から	
	8	損害保険における再保険について	
	9	中間試験、損害保険における主要な保険 (自動車保険を中心に)	
	10	外部講師による損害保険、生命保険・生活保障に関する講義 (予定)	
	11	現在における保険制度：現在までの動向から近年の動向を加えて	
	12	保険会社における金融：生命保険会社を中心に	
	13	保険会社の企業形態等と保険経営：相互会社、近年の動向、ロイズ等に関して	
	14	生命保険と主要な生命保険商品：従来の生保商品から近年の動向等を加えて	
	15	第三分野等の保険：医療保険、傷害保険等に関して	
	16	評価 (到達度の確認)	

評 価 方 法：平常点 (含受講態度、積極的な質問等)10%、中間試験 40%、期末試験 50% を基準とし、総合的に評価する。

教 科 書：テキストを使う場合は、講義開始前に掲示する。テキストを使わない場合は、授業毎にプリントを配付する。

参 考 図 書：授業において、その文献・資料が学術情報館にあるのかも含めて、随時指示する。

履 修 に あ た っ て：授業では、講義を聴きつつ、配付資料を見ながらノートを採る作業等がある。毎回の授業に出席すること。特に初回は授業概要を説明するので必ず出席すること。講義中は私語を慎み他の受講生の迷惑にならないようにすること。

備 考：本講義の担当教員の研究領域は保険論・リスクマネジメント論であり、本講義は、担当教員の専門分野である保険論の基礎理論やその関連領域を、学部専門基礎レベルの科目として開講するものである。

大 学 名	兵庫県立大学	担 当 教 員 氏 名	都築 洋一郎 准教授
開 講 期 間	前期 (4/11 ～ 8/1)	開 講 曜 日・時 間	火曜日 16:30 ～ 18:00
対 象 学 年	2 年次以上	募 集 人 員	指定しない

科 目 内 容	従来から存在する政府会計制度の仕組みとそこにおける問題点を明らかにするとともに、近年の政府会計制度改革の内容を検討する。		
	各回内容		
	1	ガイダンス	
	2	本講義の主な対象領域	
	3	地方自治体会計の目的	
	4	会計区分	
	5	予算原則と予算の内容	
	6	会計年度所属区分と出納整理期間	
	7	従来から存在する地方自治体の決算書	
	8	伝統的な財務分析指標	
	9	公会計制度改革の内容	
	10	概念フレームワーク	
	11	政府会計制度改革における理論構築	
	12	政府会計制度改革における財務書類	
	13	財務書類の活用	
	14	SEA 報告	
	15	SEA 報告－事例－	
	16	評価（達成度の確認）	

※受講生の理解度や人数により、授業内容や授業スタイルを変更する場合があります。
その場合、受講生のみなさんにご相談させていただきます。

評 価 方 法： 授業への参加状況 (15%) および期末試験 (85%) で評価する。

教 科 書： 特に使用しません。講義資料を配布します。

参 考 図 書： 亀井孝文『公会計制度の改革第 2 版』中央経済社、2011 など。

履 修 に あ た っ て： 「簿記論」と「会計学入門」といった会計学一般の基礎知識を有していることが望ましい。

大 学 名	兵庫県立大学	担 当 教 員 氏 名	田中 隆 教授 (t-tanaka@em.u-hyogo.ac.jp)
開 講 期 間	後期 (9/25 ~ 12/18・1/15 ~ 2/5)	開 講 曜 日・時 間	月曜日 16:30 ~ 18:00
対 象 学 年	2 年次以上	募 集 人 員	指定しない

科 目 内 容	(科目内容)		
	本講義の目的は、リスクとリスク・マネジメント (RM) における知識を習得すると共に、RM の理論に関して体系的に解明することである。また、組織における失敗等への理解に加え、RM と企業経営の関連、リスク・ファイナンスへの理解等を中心に、RM に関する包括的な知識の習得を目的とする。		
	本講義の到達目標は、リスクや RM の理論等に関して体系的・総合的な理解を可能とすることである。さらに、リスクや RM における基礎的な知識をはじめ、上述したリスク・ファイナンス等を含めた RM に関する基礎的・包括的な知識について、適切な水準で獲得することである。		
	(講義内容)		
	本講義では、リスクの概念やリスク・マネジメントにおける歴史・変遷等を説明し、RM の理論について体系的に解説する。また組織における失敗の事例等と共に、RM と企業経営の関係、リスク・ファイナンスの現状等も紹介し、RM における理論と事例に関する側面から講義を行う。なお、講義形式で授業を行う。不定期に出席をとる。		
	各回内容		
	1	ガイダンス：年間の講義計画、成績評価基準等の説明、リスクと我々の生活、企業	
	2	リスクとリスク・マネジメント：リスクについて、リスクの分類等について	
	3	リスク・マネジメントにおける歴史・変遷等：海上におけるリスク対策と海上保険の発展	
	4	リスク・マネジメントにおける理論について①：RM の定義、RM の仕組み、プロセス等	
	5	リスク・マネジメントにおける理論について②：RM のリスク処理技術、RM の組織等	
	6	リスク・マネジメントにおける保険①：保険の特徴、保険技術と保険経営等	
	7	リスク・マネジメントにおける保険②：損害保険に関する解説、保険経営におけるリスク等	
	8	中間試験	
	9	リスクと個人、家計について：社会保障をとりまく環境と生活設計の視点から	
	10	リスクと組織、組織における失敗について：著名な議論、組織文化等からの解説	
	11	組織における失敗とその事例等：代表的・近年の事例からの解説を加えて	
	12	リスクマネジメントと企業経営：内部統制と RM、現代的な RM の方向性等に関して	
	13	企業リスクマネジメントとリスク・ファイナンス：企業経営とリスク・ファイナンスの種類等に関する紹介・解説	
	14	異常災害とリスク・マネジメント：異常災害におけるリスク・ファイナンスと実践企業の事例等の解説から	
	15	講義全体の復習	
	16	評価 (到達度の確認)	

評 価 方 法：平常点 (含受講態度、積極的な質問等)10%、中間試験 40%、期末試験 50% を基準とし、総合的に評価する。

教 科 書：テキストを使う場合は、講義開始前に掲示する。テキストを使わない場合は、授業毎にプリントを配付する。

参 考 図 書：授業において、その文献・資料が学術情報館にあるのかも含めて、随時指示する。

履 修 に あ た っ て：授業では、講義を聴きつつ、配付資料を見ながらノートを採る作業等がある。毎回の授業に出席すること。特に初回は授業概要を説明するので必ず出席すること。講義中は私語を慎み他の受講生の迷惑にならないようにすること。

備 考：本講義の担当教員の研究領域は保険論・リスクマネジメント論であり、本講義は、担当教員の専門分野であるリスクマネジメント論の基礎理論やその関連領域を、学部専門基礎レベルの科目として開講するものである。

大 学 名	兵庫県立大学	担 当 教 員 氏 名	川向 肇 准教授
開 講 期 間	後期 (10/3 ~ 12/19・1/9 ~ 1/23)	開 講 曜 日・時 間	火曜日 18:20 ~ 19:50
対 象 学 年	3 年次以上	募 集 人 員	10 名程度

科 目 内 容	社会調査の調査の基礎から、実施方法、質問票の構成の仕方、統計解析に至る一連のプロセスについての講義を実施し、社会に関する調査分析能力を学習する。		
	各回内容		
	1	社会調査とは何か	
	2	調査仮説の構築について	
	3	概念整理のための方法論 量的調査・質的調査	
	4	調査と研究の進め方	
	5	調査の企画・対象の設定	
	6	ワーディング	
	7	調査票の構成法	
	8	サンプリング	
	9	調査の実施に向けて	
	10	分布と統計量	
	11	検定について	
	12	統計分析 (クロス表分析)	
	13	回帰分析	
	14	調査データから報告書へ	
	15	まとめ	

評 価 方 法：平常点 (40%) 及び期末レポート (60%) で評価する。

教 科 書：森山和夫著『社会調査法入門』有斐閣ブックス

参 考 図 書：講義内で、適宜紹介する。

履 修 に あ た っ て：毎回の講義に出席すること。特に初回は講義の概要を説明するため、必ず出席すること。講義中に解析ツールなど PC を利用した簡易な実習等を行うことがあるので、PC を持参することが望ましい。

大 学 名	流通科学大学	担 当 教 員 氏 名	辻 美代 教授
開 講 期 間	前期 (4/12 ～ 8/2)	開 講 曜 日 ・ 時 間	水曜日 18:20 ～ 19:50
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	50 名程度

科 目 内 容	ヒト・モノの交流を通じて、中国・香港・台湾の歴史を学び、現状を複眼的な視点で捉える。また、大航海時代以降の「グローバル化」を理解する。	
	各回内容	
	1	ガイダンス
	2	海のシルクロードと大航海時代
	3	胡椒・香辛料
	4	インド木綿
	5	イギリス産業革命
	6	アヘン戦争
	7	日本明治維新
	8	まとめと中間テスト
	9	日中戦争
	10	中華人民共和国の誕生
	11	朝鮮戦争
	12	香港
	13	台湾
	14	復習
	15	まとめと期末試験

※受講生の希望やその他状況により変更します。

評 価 方 法：課題提出 (30 点)、確認テストおよび小テスト (30 点)、期末試験 (40 点)

教 科 書：指定しない。

参 考 図 書：角山栄『茶の世界史 改版 緑茶の文化と紅茶の社会』中央公論新社、2017 年
田中仁 その他『新・図説 中国近現代史〔改訂版〕：日中新時代の見取図』法律文化社、2020 年

履 修 に あ た っ て：毎回授業に出席し、遅刻・欠席しないこと。授業中は私語を慎み、積極的に取り組むこと。

大 学 名	流通科学大学	担 当 教 員 氏 名	羽森 直子 教授
開 講 期 間	前期 (4/12 ～ 8/2)	開 講 曜 日・時 間	水曜日 18:20 ～ 19:50
対 象 学 年	3 年次以上	募 集 人 員	50 名程度

科 目 内 容	中央銀行の役割と、日本銀行を中心とする非伝統的金融政策と呼ばれる金融政策の運営やその効果について学ぶ。		
	各回内容		
	1	ガイダンス	
	2	中央銀行の役割と金融政策の枠組み	
	3	日本銀行 (1)	
	4	日本銀行 (2)	
	5	日本銀行の金融政策の特徴 (1)	
	6	日本銀行の金融政策の特徴 (2)	
	7	日本銀行の金融政策運営 (1)	
	8	日本銀行の金融政策運営 (2)	
	9	日本銀行の金融政策運営 (3)	
	10	日本銀行の金融政策運営 (4)	
	11	日本銀行の金融政策運営 (5)	
	12	日本銀行の金融政策運営 (6)	
	13	主要国の非伝統的金融政策	
	14	欧州中央銀行	
	15	欧州中央銀行の金融政策運営	
	16	米国の中央銀行制度	

評 価 方 法： ほぼ毎回実施する小テストにより評価を行う予定であるが、別途中間レポートの提出を求める可能性がある。

教 科 書： 使用しない。

参 考 図 書： 講義内で随時紹介するが、ここでは 1 冊のみ紹介しておく。
宮尾龍蔵『非伝統的金融政策—政策当事者としての視点』（有斐閣）

履 修 に あ た っ て： 毎回の講義に出席してください。特に初回は、講義概要について説明するので、必ず出席してください。皆さんの所属大学と授業開始日が異なるかもしれませんので、注意してください。授業の最初に小テストを実施しますので、遅刻しないようにしてください。講義中は私語を慎み、他の受講生の迷惑にならないようにしてください。

大 学 名	流通科学大学	担 当 教 員 氏 名	福田 司文 教授
開 講 期 間	後期 (9/25 ～ 12/21 ・ 1/5 ～ 2/5)	開 講 曜 日 ・ 時 間	月曜日 18:20 ～ 19:50
対 象 学 年	3 年次以上	募 集 人 員	40 名程度

科 目 内 容	現代の証券市場を構成する株式と債券の理解が目標です。証券を取引の仕組みと証券投資あるいは証券価格変動の問題に分けて授業する。投資においては株式、債券の評価、分析が重要であるがこの点について基礎的な理解が得られるよう基礎概念を中心に講義する。金融事象であるため、数値での分析、計算をすることが頻出すらが、練習問題でなれていくように進めてゆく。	
	各回内容	
	1	導入：証券の役割
	2	経済活動と金融システム
	3	株式の種類、株式売買
	4	株式 上場制度、特徴的な取引 (1)
	5	株式 上場制度、特徴的な取引 (2)
	6	株式の種類と様々な発行方法
	7	財務諸表と投資尺度 (1) 財務諸表の理解
	8	財務諸表と投資尺度 (2) 投資尺度の理解
	9	株式のリスク
	10	株価の予測 (1) 伝統的な価格変動の考え方
	11	株価の予測 (1) ファイナンス論による考え方
	12	債券投資
	13	投資信託 (1)
	14	投資信託 (2)
	15	まとめ

※以上は予定の内容である。受講生の理解力によっては内容を変更する可能性もあることも了承してほしい。
一つのトピックを複数回に分けて授業するので、全部カバーできないかもしれない。

評 価 方 法： 期末試験 70%、授業中の復習クイズ、出席で 30%。

教 科 書： 配付資料によって授業を進める。

参 考 図 書： 榊原・城下・姜・福田・岡村、『入門証券論』、有斐閣
川北、『テキスト株式・債券投資』、中央経済社

履 修 に あ た っ て： トピックごとに学習内容を簡単なクイズで復習するように努める。要求されるクイズをしっかりと理解すれば、期末試験には困りません。そのためにも、手を抜かず出席してください。

大 学 名	神戸市立工業高等専門学校	担 当 教 員 氏 名	今里 典子 教授
開 講 期 間	前期 (4/10 ～ 7/31)	開 講 曜 日 ・ 時 間	月曜日 16:40 ～ 18:10
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	20 名程度

科 目 内 容	日本固有の言語である「日本手話 (JSL)」とはいかなることばなのか、を言語学の視点から学ぶ。少数言語使用者としてのろう者への理解を深め、医療・福祉の現場で手話を使った基本的なコミュニケーションが可能になることを目指す。		
	各回内容		
	1	ガイダンス	
	2	聞こえのメカニズム	
	3	少数言語サイナー	
	4	手話言語の習得	
	5	ジェスチャーと手話	
	6	世界の手話	
	7	手話の構造 1 音韻	
	8	手話の構造 2 形態	
	9	手話の構造 3 文法	
	10	手話表現のまとめ	
	11	情報保障 1 社会・技術	
	12	情報保障 2 医療・福祉	
	13	情報保障 3 芸術	
	14	手話ゲーム	
	15	まとめ	

評 価 方 法：レポート (50%) および演習 (50%) で評価する。

教 科 書：指定しない。

参 考 図 書：講義内で紹介する。

履 修 に あ た っ て：毎回の授業に出席して積極的に発言し、手話の演習を行い、基本的な手話表現を必ず習得すること。また倫理上の問題に留意することが求められる。なお本講義は、日本手話学習の経験 / レベルが、「ゼロ～多くとも半期程度まで」であることを想定しているため、履修希望者数が 20 名を超える場合は初学者を優先することがある。

大 学 名	神戸市立工業高等専門学校	担 当 教 員 氏 名	八百 俊介 教授
開 講 期 間	前期 (4/11 ～ 7/25)	開 講 曜 日・時 間	火曜日 18:20 ～ 19:50
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	40 名程度

科 目 内 容	地域の安全と環境を守るのは誰なのか。「住みやすいまち」は、どのようにつくられるのか。「自治会」という名の共同体について現状を把握した上で今後の課題についてデータをもとに考察していく。	
	各回内容	
	1	地域社会の位置づけ
	2	地域社会の組織構造
	3	地域社会の機能分類
	4	機能の変化と要因 1
	5	機能の変化と要因 2
	6	機能の変化と要因 3
	7	組織再編 -人の確保 1-
	8	組織再編 -人の確保 2-
	9	組織再編 -人の確保 3-
	10	活動と領域 -場と空間 1-
	11	活動と領域 -場と空間 2-
	12	会計 -財源と使い道 1-
	13	会計 -財源と使い道 2-
	14	地域社会の課題 1
	15	地域社会の課題 2

評 価 方 法：定期試験 80%、レポート 20%

教 科 書：授業時にレジュメを配布

参 考 図 書：授業時に紹介

履 修 に あ た っ て：自学自習の一環として課題および簡単なフィールドワークとそのレポートを課す。

大 学 名	神戸市立工業高等専門学校	担 当 教 員 氏 名	未定
開 講 期 間	前期 (4/13 ～ 8/3)	開 講 曜 日・時 間	木曜日 18:20 ～ 19:50
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	60 名程度

科 目 内 容	グローバル化の進行に伴い、アメリカをはじめとする西欧自由主義諸国の政治経済のシステムの支配が全世界に拡大する一方で、国家、民族、宗教、文化間においてこれまでにない新たな対立や格差が生じている。こうした対立や格差を解消するためには「地球全体」という視点が不可欠であろう。本講義ではこの「地球全体」がいかなる意味なのかを受講者全員で考察していく。		
	各回内容		
	1	グローバル化における哲学・倫理学「グローバル化」とは何かについて、哲学的に考察する	
	2	市場社会と正義 ジレンマ思考実験についてグループワークを行う	
	3	カニバリズム カニバリズムと生命倫理について学び、意見交換を行う	
	4	マイノリティと平等 アファーマティブ・アクションの是非について考察する	
	5	嘘と正義 嘘と正義についてカントの思想も参照しながら考察する	
	6	文化とは 文化とは何か、異文化理解について考察する	
	7	文化と国際問題 文化の違いから生じる国際問題について学び、倫理的に考察する	
	8	タイムパラドックス タイムパラドックスの問題を学び、その倫理的問題を考察する	
	9	グローバル化と生命倫理 (1) 生殖補助医療技術をビジネスとして行うことに是非について考察する	
	10	グローバル化と生命倫理 (2) 身体の「治療」ではなく、「改善」や「増強」を目的とするエンハンスメントの是非について考える	
	11	心と人間 心とは何か、人間とは何かについて思考実験を用いながら考察する	
	12	言語と人間 言語とは何かについて思考実験を用いながら考察し、国際社会の問題を議論する	
	13	グローバル化と環境倫理 環境倫理について、思想家の議論も参照しながら考察する	
	14	グローバル化における地球市民 グローバル化における地球市民とは何か、SDGsを参照しながら考察する	
	15	まとめ これまでの内容をまとめ、グループ対話を行う	

評 価 方 法：成績は試験 50%、授業レポート 50% として評価する。100 点満点で 60 点以上を合格とする。

教 科 書：授業プリントを使用する。

参 考 図 書：講義で随時指示する。

履 修 に あ た っ て：予備知識は一切必要ないので、その都度のテーマについてみんなで真剣に考察していきましょう。

大 学 名	神戸市立工業高等専門学校	担 当 教 員 氏 名	未定
開 講 期 間	後期 (9/25 ～ 12/18 ・ 1/15 ～ 2/5)	開 講 曜 日 ・ 時 間	月曜日 18:20 ～ 19:50
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	60 名程度

科 目 内 容	現代の科学技術の諸問題には科学的解決のみならず、社会的合意が必要な倫理的問題も含まれている。この講義では生命倫理・環境倫理・情報倫理などの問題について学び、他者と協力しながら解決策を考える姿勢を身につける。		
	各回内容		
	1	応用倫理学とは？ 応用倫理学と従来の倫理学のアプローチの相違を学び、身近なテーマを取り上げて倫理的ジレンマを考察する	
	2	情報社会と情報倫理 情報社会における倫理について学び、自己の身近な問題と結びつけて考察する	
	3	医療情報と情報倫理 医療情報とインフォームド・コンセントについて、グループワークを通して学ぶ	
	4	生命倫理と自己決定権 (1) 生命倫理における人間の尊厳について学ぶ	
	5	生命倫理と自己決定権 (2) ケアの倫理や安楽死・尊厳死について学び、対話する	
	6	市場社会と生命倫理 脳死と臓器移植について学び、対話する	
	7	家族の倫理 (1) 家族の在り方とジェンダーについて学ぶ	
	8	家族の倫理 (2) 出産にともなう倫理的諸問題について学び、人間とは何かを考察する	
	9	市民社会と技術倫理 技術とは何かを考え、技術者倫理について学び、自己の身近な問題として考察する	
	10	技術の発達と動物倫理 (1) 肉食の問題と動物実験について学び、自己の身近な問題として考察する	
	11	技術の発達と動物倫理 (2) 種差別と動物倫理について学び、グループワークを行う	
	12	グローバル化とビジネス倫理 異文化とビジネス、富の格差とは何かについて思考する	
	13	自由主義と環境倫理 環境問題と世代間倫理について学び、自己の身近な問題として考察する	
	14	民主主義と合意形成 分配と正義の問題について、思想家の議論を通して学ぶ	
	15	まとめ これまで扱った内容について全体でまとめを行う	

評 価 方 法：成績は試験 50%、授業レポート 50% として評価する。100 点満点で 60 点以上を合格とする。

教 科 書：授業プリントを使用する。

参 考 図 書：講義で随時指示する。

履 修 に あ た っ て：予備知識は一切必要ありません。他者と協力して学んでいきましょう。

大 学 名	神戸市看護大学	担 当 教 員 氏 名	高田 昌代 教授 井上 理絵 准教授 池田 智子 准教授 蚊口 理恵 助教 田中 幸恵 助教
開 講 期 間	前期 (4/12 ～ 7/26)	開 講 曜 日・時 間	水曜日 18:20 ～ 19:50
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	指定しない

科 目 内 容	女性の日常生活やライフステージの段階を通じて体験し得る様々な健康に関する事柄を取り上げ、それに関係する要因や対処方法、ケアについての理解を深める。 その際、女性の健康問題には社会的背景も影響しているため、個人の問題だけでなくジェンダーの視点からも併せて考えていく。		
	各回内容		
	1	ウイメンズヘルスとは / リプロダクティブ・ヘルス / ライツとは / ジェンダーとは	
	2	男女共同参画とは、神戸市男女共同参画センターの役割	
	3	男女共同参画センターに行ってみよう	
	4	月経にまつわる障害とその対処	
	5	就業女性の健康	
	6	主体的なお産、産後ケア	
	7	女性と小さな子どもを持つ母親のための災害時支援	
	8	不妊にまつわる悩み	
	9	女性とセクシャルヘルス（避妊法を含む）	
	10	人工妊娠中絶とその影響	
	11	在日外国人の母子保健	
	12	ドメスティック・バイオレンス（デート DV を含む）	
	13	性暴力被害とケア	
	14	更年期女性の健康	

※科目内容の順序は、1 回目講義時に提示します。

評 価 方 法：●プレゼンテーション (20%)

4 から 14 までの関心のある内容をパワーポイントを用いてプレゼンテーションを行う。

●女性センター / 男女共同参画センターのレポート (20%)

日本中のどこの女性センター / 男女共同参画センターでもよいので、自分の時間で行ってみる。研修を受講することもお勧めします。「テーマは①どこに行ったのか。センターの概要、②センターに行ったことの感想③センターが女性の健康に果たす役割を考える」

●最終のレポート (60%)

レポート課題は科目内容の中からテーマを選んで、A4 2 枚にまとめる。

教 科 書：

参 考 図 書：「子宮力」日本助産師会出版会

「女性の看護学」メジカルフレンド社

「リプロダクティブヘルス / ライツ」メディカ出版

「ドメスティックバイオレンスの視点」朱鷺書房

「デート DV Q&A」解放出版

これ以外の参考文献などは授業中に提示します。プリント資料を配布します。

履 修 に あ た っ て：講義は、全体として意味をなすので、毎回出席をしてください。受講生は開講中 1 回、興味のあるテーマについて 5 分程度のプレゼンテーションを課しています。予習してくることで他の人に自分の主張を伝えることの楽しさを経験できます。

学 内 提 供 科 目

曜 日	開講 時期	科 目 名	単 位 数	担当 大学	担 当 教 員	時 間	掲 載 頁
3 月 末 に 配 布 す る 資 料 を ご 確 認 く だ さ い。	前期	アニメーション作品表現論	2	芸工大	原口 正宏 講師	3 月 末 に 配 布 す る 資 料 を ご 確 認 く だ さ い。	27
		ファッションデザイン概論	2		笹崎 綾野 教授 他 5 名		28
		日本建築の歴史	2		山之内 誠 教授		29
		アート・クラフト概論	2		友定 聖雄 教授 他 7 名		30
		英米文学・文化研究入門	2	外 大	大西 寿明 准教授 他 9 名		35
		スポーツ文化論演習「第 2」1	2		常行 泰子 准教授		36
		物流産業論	2	県 大	兒山 真也 教授 日本マテリアル・ハンドリング協会		38
		健康・スポーツマネジメント論 I	2		松村 浩貴 教授		39
		スポーツ心理学	2	流科大	内田 遼介 准教授		43
		投資戦略論	2		小笠原 宏 教授		44
		キャリア基礎論	2		中山 一郎 教授		45
		都市防災学	2	高 専	鳥居 宣之 教授・宇野 宏司 教授		49
		フィールドロボティクス論	2		小澤 正宜 准教授		50
		周期表の化学	2		宮下 芳太郎 教授		51
		神戸学	1	看護大	藤代 節 教授		53
	後期	ランドスケープデザインの歴史	2	芸工大	長濱 伸貴 教授		31
		ビジュアルデザイン論 II	2		寺門 孝之 教授 他 4 名		32
		まんがメディア文化史	2		川中 利満 教授		33
		科学と技術	2		大内 克哉 教授		34
		スポーツ文化論演習「第 2」2	2	外 大	常行 泰子 准教授		37
		コンピュータネットワーク	2	県 大	古隅 弘樹 准教授		40
		多様な働き方と労働行政	2		濱田 洋 准教授		41
		租税法各論	2		濱田 洋 准教授		42
		キャリア実践論	2	流科大	前川 明 准教授		46
		国際経済論	2		竹内 信行 准教授		47
		経営学入門	2		今西 珠美 教授		48
		アルゴリズムとデータ構造	2	高 専	尾山 匡浩 准教授		52

2023 年 1 月末 現在

注意事項

対面での授業を予定していますが、新型コロナウイルスの感染状況等によっては急遽、学期の途中も含め、授業の実施方法が変更になる場合があります。また著しく状況が悪化した場合は、非開講もあり得ます。

大 学 名	神戸芸術工科大学	担 当 教 員 氏 名	原口 正宏 講師
開 講 期 間	前期 (4/11 ～ 8/1)	開 講 曜 日・時 間	火曜日 16:20 ～ 19:00
対 象 学 年	2 年次以上	募 集 人 員	5 名程度

科 目 内 容	古典的名作の観賞を目的に構成した『アニメーション原論』『アニメ史』を踏まえ、より後年の時代(80年代～現在)を対象に、注目すべき監督と代表作を上映していくのが本講座の目的。 キーワードは“技法の比較”。優れた作品には、必ず監督がこだわる独自の映像的価値観と表現法が存在する。具体的にその特徴に眼を向け、複数の作品に潜む共通項と変化(差異)を発見、検証していく。		
	各回内容		
	1	東映的方法論とアクションカット主義	宮崎 駿 『ルパン三世 カリオストロの城』
	2	虫プロ的方法論と主観カット主義	出崎 統 『ブラック・ジャック』
	3	客観的視点とアンチ・ファンタジー	高畑 勲 『じゃりン子チエ』
	4	色彩・レイアウトの工夫とループ作画	虫プロの後継者 川尻 善昭 『吸血鬼ハンター D』
	5	夢と現実 1 既成技法(時間伸縮や透過光)の応用	押井 守 『うる星やつら 2 ビューティフル・ドリーマー』
	6	夢と現実 2 既成技法(アクションカットつなぎ)の応用	今 敏 『パーフェクトブルー』
	7	1980 年代の変革 1 アニメ・特撮ファン世代の台頭	山賀 博之、庵野 秀明 『王立宇宙軍』
	8	1980 年代の変革 2 漫画家が開拓した新たな「リアル」と映像表現	大友 克洋 『AKIRA』
	9	東映動画新世代の模索 1	佐藤 順一 『ユンカース・カム・ヒア』
	10	東映動画新世代の模索 2	細田 守 『デジモンアドベンチャー ぼくらのウォーゲーム』
	11	東映動画派生スタジオが生んだ新世代 1	原 恵一 『河童のクゥと夏休み』
	12	東映動画派生スタジオが生んだ新世代 2	片渕 須直 『この世界の片隅に』
	13	繰り返されるテキスト 50 年間の東映動画	演出・作画の実験場としての『ゲゲゲの鬼太郎』
	14	21 世紀テレビアニメの 2 大潮流	京都アニメーションとシャフト 『日常』『さよなら絶望先生』
	15	現代日本の短編アニメーション作家たち	

評 価 方 法： 毎回、採り上げた作家と作品についての観賞レポート(200 字以上)を提出してもらう。

提出期限は、その日の講義終了時から翌週の講義当日まで。2 週以上遅れた課題提出は認めない。出席した回数分は必ず提出すること。遅刻は欠席あつかいとする。講義内容を理解し、監督の特性やその歴史的背景、スタジオ系列の影響について把握できているかどうかを判断し、評価の対象とする。必ず、描く作品の演出・作画の技法の特徴に触れ、分析する視点を盛り込むこと。「とても面白かった」「アニメの歴史がよくわかった」という抽象的な表現だけに終始した感想文は受けつけない。レポート内容を 70%、授業参加態度を 30%として全体評価を行う。出席率 70%未満は不可評価。

教 科 書： 毎回、講義内容に即した資料をコピーの上、配布してテキストとして使用する。また、並行して PowerPoint を使用したポイント解説を行う。配布資料には、作品、監督などについて、講義時間内では紹介しきれなかった内容も記載されているので、次週までに精読し、理解を深めておくことを奨励する。

参 考 図 書：

履 修 に あ た っ て： 名作といわれる作品を、まずは観賞し、思いきり作品世界に入り込んでみましょう。

次に、考えてみましょう。何故、ワクワクしたのか、何故、感動を覚えたのか。何故、絵で描かれたキャラクターや情景に感情移入できたのか。そして、90 分程度の作品を観終わったのに、まるで何か月も何年も時には何十年もの時間を体験したような気持ちになることがあるのはどうしてなのか。

それは、監督たちが映像作品の中に流れる「時間」と「空間」を巧みに構成し、伸縮させ、映像の中にアニメーションならではの時間と空間、リアリティを呼び起こすための工夫をしているからです。その技法の秘密を覗いてみましょう。他大学の皆さんも、アニメーションが専門ではない皆さんも、大歓迎です。作品を別の視点からとらえる訓練をすると、アニメーションがもっと好きになるはずです。

大 学 名	神戸芸術工科大学	担 当 教 員 氏 名	笹崎 綾野 教授 瀬能 徹 教授 見寺 貞子 教授 金沢 香恵 准教授 権 裕美 准教授 徂徠 友香子 准教授
開 講 期 間	前期 (4/12 ~ 8/2)	開 講 曜 日・時 間	水曜日 10:40 ~ 12:10
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	5 名程度

科 目 内 容	衣服は第二の皮膚と言われるように、ファッションは私たちの身体と気持ちを常に覆っているものである。ファッションデザインを身体、テキスタイル、デジタル、メディア、市場、ユニバーサルデザイン等をキーワードにして探る。		
	各回内容		
	1	ファッションとはなにか?・・・今日のファッションは何を感じているのか? (瀬能)	
	2	ファッショントレンドの発信と増幅 (瀬能)	
	3	次世代の社会とファッションを考える (瀬能)	
	4	時代を映し出すファッションデザイン (見寺)	
	5	誰にとっても良いデザイン・・・ユニバーサルファッション (見寺)	
	6	時代とファッション・・・近現代服の成り立ち (笹崎)	
	7	時代とファッション・・・紳士服の成り立ちと日本への導入 (笹崎)	
	8	時代とファッション・・・パリのストリートファッション (笹崎)	
	9	具現化されるイメージ 1・・・グラフィックイメージとしての身体表現 (金沢)	
	10	具現化されるイメージ 2・・・イメージ世界からのファッションデザイン (金沢)	
	11	具現化されるイメージ 3・・・ビジュアルボキャブラリーとしてのファッション (金沢)	
	12	デジタルとファッション・・・3D バーチャルファッション (権)	
	13	デジタルとファッション・・・ウェアラブルファッション (権)	
	14	繊維素材の魅力 (徂徠)	
	15	テキスタイルの可能性 (徂徠)	

評 価 方 法：各回の小レポートと授業への取り組み姿勢により評価する。

教 科 書：必要に応じてプリントを配布する。

参 考 図 書：

履 修 に あ た っ て：本科目は、ファッション分野の現状と課題を提示し、今後のファッション動向を示唆する導入授業です。ファッションに興味のある方は、気軽に受講してください。

大 学 名	神戸芸術工科大学	担 当 教 員 氏 名	山之内 誠 教授
開 講 期 間	前期 (4/14 ～ 8/4)	開 講 曜 日・時 間	金曜日 10:40 ～ 12:10
対 象 学 年	2 年次以上	募 集 人 員	5 名程度

科 目 内 容	この授業では、古代から近代にわたる日本の歴史的な建築（寺社建築、住宅、城郭、近代建築等）を中心に、インテリアから都市計画まで広範な領域を対象として、基礎的な特徴や、成り立ち及び変遷について、解説する。		
	各回内容		
	1	日本建築の基本構成とその名称	
	2	飛鳥・奈良時代の建築	
	3	古代の都城計画と宮殿建築	
	4	建築構造・意匠の日本的発展過程	
	5	神社の成立とその形式	
	6	密教建築と浄土教建築	
	7	大仏様と禅宗様-新様式の輸入と展開	
	8	寝殿造の成立-上層住宅の変遷 1	
	9	寝殿造から書院造へ-上層住宅の変遷 2	
	10	近世城郭と武家住宅	
	11	近世寺社建築の展開	
	12	草庵風建築の誕生と展開	
	13	洋風建築の出現と日本人建築家の誕生-西洋建築文化の移入と近代日本の建築界 1	
	14	様式への習熟と近代建築運動-西洋建築文化の移入と近代日本の建築界 2	
	15	まとめ・理解度確認テスト	

評 価 方 法：15 回目の授業内で課す理解度確認テストにより評価する。

教 科 書：毎回の授業で配布するオリジナルのプリントを用いる。
『日本建築史図集』彰国社（配布プリントを補完するものとして使用）

参 考 図 書：『日本建築史』（建築学の基礎 6）共立出版
『カラー版建築と都市の歴史』井上書院
『コンパクト版建築史【日本・西洋】』彰国社
『カラー版図説建築の歴史』学芸出版社

履 修 に あ た っ て：専門知識の無い他分野の学生でも履修できます。日本の伝統的な建築に関心のある学生に受講してもらえれば幸いです。

アート・クラフト概論 *Introduction to Arts & Crafts*

2 単位

大 学 名	神戸芸術工科大学	担 当 教 員 氏 名	友定 聖雄 教授 田口 史樹 准教授 さくまはな 准教授 中山 玲佳 准教授 三島 一能 助教 森岡 希世子 教授 戸矢崎 満雄 教授 谷口 文保 准教授
開 講 期 間	前期 (4/14 ~ 8/4)	開 講 曜 日・時 間	金曜日 13:00 ~ 14:30
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	5 名程度

科 目 内 容	「アート・クラフト概論」では、アートとはなにか？ クラフトとは何か？ という問いかけに対し、各領域の歴史や理論を背景に造形、表現、伝統、地域、交流などの基本的な要素について論じる。また、各教員の研究分野について解説する。		
	各回内容		
	1	イントロダクション 造形と表現 1：これからの工芸とは？ (友定)	
	2	素材と技法 1 アートと社会 (さくま)	
	3	素材と技法 2 ガラスのひかり (友定)	
	4	素材と技法 3 生活のなかの陶芸 (森岡)	
	5	素材と技法 4 絵画で描くもの (中山)	
	6	素材と技法 5 アートとコレクション (戸矢崎)	
	7	素材と技法 6 アートプロジェクト (谷口)	
	8	素材と技法 7 アート×フィギュア×クラフト (三島)	
	9	素材と技法 8 メタルワークス (田口)	
	10	造形と表現 2 陶芸のひろがり (森岡)	
	11	造形と表現 3 なぜ絵を描くのか？ (中山)	
	12	造形と表現 4 社会とつながるには？ (谷口)	
	13	造形と表現 5 植物文様の世界 (さくま)	
	14	造形と表現 6 メタルワークとかたち？ (田口)	
	15	造形と表現 7 花の絵 (戸矢崎)	

評 価 方 法：毎回の授業のミニレポート (100%) で評価する。又、出席が 10 回に満たない場合は E 評価となる。

教 科 書：プリントの配布もしくは適時指示する。

参 考 図 書：

履 修 に あ た っ て：この授業は、アートやクラフトの分野を 8 名の教員が、それぞれの専門分野を通し紹介し、理解と考察を促す授業です。堅苦しく考えず、アートやクラフトを生活の中でどのように楽しみ、どのように実践していくのかを考える手助けになればと思います。

ランドスケープデザインの歴史 *History of Landscape Design*

2 単位

大 学 名	神戸芸術工科大学	担 当 教 員 氏 名	長濱 伸貴 教授
開 講 期 間	後期 (9/19 ~ 12/26 ・ 1/16 ~ 1/23)	開 講 曜 日 ・ 時 間	火曜日 13:00 ~ 14:30
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	5 名程度

科 目 内 容	公園・広場および庭園の空間を対象としたランドスケープデザインの歴史的な意味や社会的な役割について、建築やアートなどの時代背景と共に、その時系列的な探究によってアプローチする。このことによって、ランドスケープデザインの基礎知識の習得および建築や都市計画、インテリア、アートなどの他領域との関係性や協働性を考えるきっかけづくりとなることを目指す。		
	各回内容		
	1	ランドスケープデザインの近代史 (概論)	
	2	庭園からランドスケープデザインへ (1850 年以前)	
	3	近代ランドスケープデザインの幕開け (1850 ~ 1900 年)	
	4	都市とランドスケープの結合 (1900 年代)	
	5	日本のランドスケープデザインの幕開け (1910 年代)	
	6	建築モダニズムとランドスケープ (1920 年代)	
	7	ランドスケープのモダニズム運動の胎動 (1930 年代)	
	8	ランドスケープデザインの断絶期 (1940 年代)	
	9	ランドスケープのモダニズムの展開 (1950 年代)	
	10	ランドスケープのモダニズムの実践 (1960 年代)	
	11	エコロジカル・ランドスケープ (1970 年代)	
	12	ランドスケープデザインの復興 (1980 年代)	
	13	アートとしてのランドスケープ (1990 年代)	
	14	ランドスケープデザインの現在 (2000 年代)	
	15	まとめ (ランドスケープ近代史の年表作成)	

評 価 方 法：毎回の講義に関して提出するレポートを採点し、総合的に評価する。

教 科 書：『テキストランドスケープデザインの歴史』学芸出版社

参 考 図 書：

履 修 に あ た っ て：ランドスケープデザイン (公園や広場などの屋外空間のデザイン) の歴史について、芸術や建築の状況、社会の変化などと合わせて講義しますので、他大学や他分野の学生の方にもわかりやすい内容となっています。

大 学 名	神戸芸術工科大学	担 当 教 員 氏 名	寺門 孝之 教授 秋山 伸 教授 森山 明子 教授 久本 直子 准教授 廣中 薫 准教授
開 講 期 間	後期 (9/21 ~ 12/21・1/11 ~ 1/25)	開 講 曜 日・時 間	木曜日 10:40 ~ 12:10
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	5 名程度

科 目 内 容	ビジュアルデザインの主要な構成要素である、「文字」と「イラストレーション」の歴史、世界及び現在の日本における諸傾向について、その多様性を紹介しつつ、歴史的な基盤を探っていく。毎回テーマを定めて具体例を画像、映像あるいは現物資料により確認しながら進めていく。また、絵本についてもイラストレーション、エディトリアルデザインの視点から概観する。		
	各回内容		
	1	オリエンテーション／イラストレーション概論 (寺門)	
	2	ビジュアルデザインとエディトリアルデザイン／デザインジャーナリズムの現場から (森山)	
	3	ビジュアルデザインにおける文字・レイアウト・タイポグラフィ (1)(秋山)	
	4	ビジュアルデザインにおける文字・レイアウト・タイポグラフィ (2)(秋山)	
	5	物語とイラストレーション／不思議の国のアリス・桃太郎 (寺門)	
	6	日本のイラストレーションの基盤／浮世絵 (寺門)	
	7	目の表現の多様性とその変遷 (1)(寺門)	
	8	目の表現の多様性とその変遷 (2)(寺門)	
	9	絵本—過去から現在へ (久本)	
	10	絵本—これからの時代・絵本と表現方法未来に遺すものとは (久本)	
	11	アートブックの可能性—現代美術とエディトリアルデザイン (秋山)	
	12	アートとイラストレーション／イラストレーションと自由 (廣中)	
	13	イラストレーションとマーケット (廣中)	
	14	絵の効用／神戸とイラストレーション (寺門)	
	15	デザインの地方性／マスプロダクトに抗して (秋山)	

※各回の内容・順序は必要に応じて変更されることがある。
事前に授業または学科棟 1 階の掲示板で告知する。

評 価 方 法：授業の各回に「レポート」あるいは「アンケート」の提出を課する。それら提出物 (全 15) の内容を総合的に判断し評価する。提出物が 10 に満たない場合は E 評価となる。

教 科 書：適宜にプリントを配布する。

参 考 図 書：その都度紹介・指示をする。

履 修 に あ た っ て：座学ですので、絵を描くのが得意でなくても、履修可能です。

大 学 名	神戸芸術工科大学	担 当 教 員 氏 名	川中 利満 教授
開 講 期 間	後期 (9/21 ~ 12/21・1/11 ~ 1/25)	開 講 曜 日・時 間	木曜日 10:40 ~ 12:10
対 象 学 年	2 年次以上	募 集 人 員	5 名程度

科 目 内 容	「まんが」とされるジャンルは一体どこから来て、どのように受容され、どこに向かおうとしているのかを、現在および過去の代表作からひも解く。 また、近縁ジャンルである映画・アニメ・ゲーム等も本講義中に言及する。 これにより、表現が社会状況と不可分の関係であることを知り、作品の成立背景やその与えた影響を考える。 # リテラシー # 資料分析		
	各回内容		
	1	現代漫画の誕生「鉄腕アトム」	
	2	青年向け漫画の台頭と劇画：「ルパン三世」	
	3	少女漫画表舞台へ：「エースをねらえ！」	
	4	漫画とキャラクター & ホビー：「仮面ライダー」	
	5	児童向け漫画とメディアミックス：「ドラえもん」	
	6	まんがニューウェーブ：「AKIRA」	
	7	週刊少年ジャンプ黄金時代：「ドラゴンボール」	
	8	戦う少女漫画：「美少女戦士セーラームーン」	
	9	オタクの台頭：「新世紀エヴァンゲリオン」	
	10	萌え文化と BL：「あずまんが」	
	11	冒険は少年から少女へ：「鋼の錬金術師」	
	12	00 年代のリアル：「進撃の巨人」	
	13	震災後の世界へ：「魔法少女まどか☆マギカ」	
	14	海外の漫画：アメコミとバンド・デシネ	
	15	最新動向	

評 価 方 法： 1) 期末のレポート課題で評価する。提出 70%、内容 30% での評価とする。課題を提出しない場合は E 評価とする。

2) 出席回数が 10 回に満たない場合は E 評価となる。

教 科 書： 要点を記したレジュメを授業毎に用意する。

参 考 図 書：

履 修 に あ た っ て： 本学学生は参考資料として、8 号棟の書架や図書館等に所蔵されている 1950 年代以降の代表的なまんが作品に積極的に目を通しておくこと。

他大学生は、2020 年平凡社発行の「日本マンガ全史」を事前に読んでおくことを勧める。また絶版ではあるがネットの中古品で入手できる 2001 年講談社発行の「教養としてのまんが・アニメ」も入門書としてお薦めの一冊である。

大 学 名	神戸芸術工科大学	担 当 教 員 氏 名	大内 克哉 教授
開 講 期 間	後期 (9/22 ～ 12/22 ・ 1/12 ～ 1/26)	開 講 曜 日 ・ 時 間	金曜日 14:40 ～ 16:10
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	5 名程度

科 目 内 容	この講義では、科学技術の発達と地理的世界観の発展には密接な関係があることに着目し、講義の前半で世界地図の移り変わりを概観し、科学の発展や中世における停滞を視覚的に把握する。後半部分ではそれらの世界観を踏まえて、特に物質観に焦点を当てて科学がどのようにして発展してきたのかを学習する。		
	各回内容		
	1	<前半：世界地図の歴史と地理的世界観> イントロダクション	
	2	地図の起源と世界最古の世界地図	
	3	古代ギリシアの世界観～オケアノスの否定と地球球体説～	
	4	古代ギリシアの世界観～プトレマイオスの世界図にみられる近代地図の先駆け～	
	5	中世における世界観の退歩	
	6	近代地図の始まり	
	7	大航海時代と南方大陸の否定	
	8	<後半：物質観の移り変わり> 古代科学の芽生えとギリシアの自然哲学～ミレトス学派と四元素説～	
	9	古代科学の芽生えとギリシアの自然哲学～古代原子論～	
	10	古代の宇宙観	
	11	アレクサンドリア期の科学	
	12	中世と錬金術	
	13	燃焼とフロギストン説	
	14	化学革命と近代原子論～ラボアジェによる元素概念の確立～	
	15	化学革命と近代原子論～ドルトンの原子論～	

評 価 方 法：授業時間内に行う数回のレポート結果により評価する。

教 科 書：オリジナルの資料を配布

参 考 図 書：『地図の歴史-世界篇・日本篇』織田武雄（講談社学術文庫）
『自然観の変遷』橋本敬造他（学術図書出版社）

履 修 に あ た っ て：この授業は、本学のデザインを専門とする学生向けに組み立てられていることから、なるべく数式を使わずに説明するよう配慮している。数式が苦手という人にも受講を推奨する。

英米文学・文化研究入門 *Introduction to Anglo/American Literature and Culture* 2 単位

大 学 名	神戸市外国語大学	担 当 教 員 氏 名	吉川 朗子 教授 H.Atmore 教授 エグリントン みか 教授 M.Theado 教授 大西 寿明 准教授 井上 詩歩子 講師 衣川 将介 准教授 光永 雅明 教授 A.Lafontaine 准教授 西川 健誠 教授
開 講 期 間	前期 (4/11 ~ 8/1)	開 講 曜 日・時 間	火曜日 16:05 ~ 17:35
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	50 名程度

科 目 内 容	神戸市外国語大学英米学科文学文化系教員によるリレー講座です。同じテーマで毎回専門の異なる教員がそれぞれの専門分野の視点から講じます。今年のテーマは「英米の名著を読む」です。英米の名著を紹介しながら、文学、文化、歴史を読み解いていきます。 This is a relay course taught by faculty members in the Department of English Studies. Each week, a different instructor teaches a topic focusing on his or her special field. This year's topic is "Reading Masterpieces." Students will be introduced to various "masterpieces" in English from literary, cultural, or historical perspectives.		
	各回内容		
	1	イントロダクション (大西 寿明)	
	2	シェイクスピア悲劇『マクベス』を読む (エグリントンみか)	
	3	Typewriters and Roadmaps : American Travel Writing(Matthew Theado)	
	4	Record Players and 1960s Protest Songs(Matthew Theado)	
	5	William Wordsworth, Lyrical Ballads(1798) のなかの子供 (吉川 朗子)	
	6	William Wordsworth, The Prelude(1805) のなかの子供 (吉川 朗子)	
	7	"Some Of Us Had Been Threatening Our Friend Colby" by Donald Barthelme(Henry Atmore)	
	8	「男」という牢獄-Evelyn Waugh の Decline and Fall を読む (大西 寿明)	
	9	6/13 レポート提出期限 (1 回目)(First Essay Submission)	
	10	英米探偵小説の名作 (衣川 将介)	
	11	"Suspenseful Sounds in the Films of Alfred Hitchcock"(Andree Lafontaine)	
	12	J. S. ミル、『自伝』を読む (光永 雅明)	
	13	J. S. ミル、『自伝』を読む (光永 雅明)	
	14	Sylvia Plath, Ariel (1965) を読む (井上 詩歩子)	
	15	欽定訳聖書と英米詩 (1)(西川 健誠)	
		欽定訳聖書と英米詩 (2)(西川 健誠)	
		8/1 レポート提出期限 (2 回目)(Second Essay Submission)	

評 価 方 法：前半・後半それぞれレポートを提出。期日厳守。出席重視。

教 科 書：各教員がプリント等を授業の時に提供する。

参 考 図 書：講義内で紹介する。

履 修 に あ た っ て：*この授業は前半と後半に分かれています。

*前半・後半でそれぞれレポートを提出してもらいます。それぞれの提出期限を厳守してください。

*レポートの内容については各教員から説明があります。

*前半と後半、どちらにおいても3回以上欠席した学生は評価の対象とならないので注意してください。
(例えば、前半で3回欠席した学生は後半の出席率に関係なく落第。前半で無欠席でも、後半で3回欠席した場合は同じく落第)

*なお、都合により講義の順番や講師が変更される場合もあります。

*昨年以前に授業を履修して単位を得た人は受講不可。

スポーツ文化論演習「第2」1 *Seminar on Sport Culture (2) 1*

2 単位

大 学 名	神戸市外国語大学	担 当 教 員 氏 名	常行 泰子 准教授
開 講 期 間	前期 (4/14 ~ 7/28)	開 講 曜 日・時 間	金曜日 12:45 ~ 14:15
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	10 名程度

科 目 内 容	本授業は、プログラム企画・運営を中心に、「する」「みる」「ささえる」の視点で運動・スポーツと健康づくりについて考えます。特に、スポーツボランティアや地域・国際貢献プログラムに興味のある方におすすめします。 a) スポーツ文化についての基礎的・実践的な事項を理解できる。 b) スポーツと社会の関連について関心を持ち、分析する。 c) ディスカッションとプレゼンテーションスキルを身につける。	
	各回内容	
	1	オリエンテーション
	2	「する」スポーツ実践
	3	プログラム企画 (1)
	4	プログラム企画 (2)
	5	プログラム広報
	6	プログラム準備 (1)
	7	プログラム準備 (2)
	8	プログラム運営
	9	振り返り
	10	映画炎のランナー (1)
	11	映画炎のランナー (2)
	12	映画炎のランナー (3)
	13	総合討議
	14	まとめ
	15	試験

評 価 方 法：出席・フィールドワーク 50%、提出物 20%、最終課題レポート 30%

教 科 書：指定しない。

参 考 図 書：『教育とヘルシーエイジング』常行・柴 晃 晃洋書房

履 修 に あ た っ て：学内外でのフィールドワークや調査等 (参加必須) を実施しますので、土日祝に集中授業を行う場合があります。各自で日程調整していただく必要があります。

スポーツ文化論演習「第2」2 *Seminar on Sport Culture (2) 2*

2 単位

大 学 名	神戸市外国語大学	担 当 教 員 氏 名	常行 泰子 准教授
開 講 期 間	後期 (9/15 ～ 1/26)	開 講 曜 日 ・ 時 間	金曜日 12:45 ～ 14:15
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	10 名程度

科 目 内 容	本授業は、スポーツボランティアへの参加を中心に、「する」「みる」「ささえる」の視点で運動・スポーツと健康づくりについて考えます。特に、スポーツボランティアや地域・国際貢献プログラムに興味のある方におすすめします。 a) スポーツ文化についての基礎的・実践的な事項を理解できる。 b) スポーツと社会の関連について関心を持ち、分析する。 c) ディスカッションとプレゼンテーションスキルを身につける。	
	各回内容	
	1	オリエンテーション
	2	「する」スポーツ実践
	3	地域とスポーツ
	4	プログラム準備 (1)
	5	プログラム準備 (2)
	6	プログラム参加 (1)
	7	プログラム参加 (2)
	8	プログラム参加 (3)
	9	振り返り
	10	映画しあわせの隠れ場所 (1)
	11	映画しあわせの隠れ場所 (2)
	12	映画しあわせの隠れ場所 (3)
	13	総合討議
	14	まとめ
	15	試験

評 価 方 法：出席・フィールドワーク 50%、提出物 20%、最終課題レポート 30%

教 科 書：指定しない。

参 考 図 書：『教育とヘルシーエイジング』常行・柴 晃洋書房

履 修 に あ た っ て：学内外のプログラム（参加必須）を実践しますので、土日祝に集中授業を行う場合があります。
各自で日程調整していただく必要があります。

大 学 名	兵庫県立大学	担 当 教 員 氏 名	兒山 真也 教授 日本マテリアル・ハンドリング協会
開 講 期 間	前期 (4/19 ~ 7/26)	開 講 曜 日・時 間	隔週水曜日 13:00 ~ 16:10
対 象 学 年	2 年次以上	募 集 人 員	15 名程度

科 目 内 容	企業経営にとって、大きな関心事となっている「物流・ロジスティクス」を基礎から始めて、先進的な企業の実例を踏まえて紹介することにより、キャリア形成の可能性について学生自身が考えられるようにする。 「物流・ロジスティクス」の基礎知識を身に付けてもらうことにより、企業入社時に必要な「物流・ロジスティクス」の理解を深め、学生の視野を広げてもらう。 企業研修でも使われる 3 級テキストの内容に沿って、より企業の実例を交え、わかりやすく基礎から「物流・ロジスティクス」を実務経験豊富な講師（日本マテリアル・ハンドリング協会加盟の専門家）により紹介する。		
	各回内容		
	1	(4/19)	オリエンテーション (カツヤマキカイ株式会社) 物流業・MH 業の産業概論 (株式会社ダイフク)
	2	(4/19)	物流の概念と物流管理 (J-SCI コンサルティング)
	3	(5/10)	物流システム管理 (YKK AP 株式会社)
	4	(5/10)	物流サービス管理 (YKK AP 株式会社)
	5	(5/24)	在庫管理・物流コスト管理 (ニッコンホールディングス株式会社)
	6	(5/24)	包装の基礎 (親和パッケージ株式会社)
	7	(6/7)	ユニットロードシステム (日本パレットレンタル株式会社)
	8	(6/7)	Amazon のイノベーションを支えるフルフィルメントセンター (アマゾンジャパン合同会社)
	9	(6/21)	保管概論と物流システム事例 (村田機械株式会社)
	10	(6/21)	搬送概論と物流システム事例 (伊東電機株式会社)
	11	(7/5)	輸送 (山九株式会社)
	12	(7/5)	輸配送システム (山九株式会社)
	13	(7/19)	経営課題としての物流最適化 (株式会社ビックカメラ)
	14	(7/19)	次世代型大規模物流センター (仮)
	15	(7/26)	まとめ・終講・物流企業紹介 (各社) [4 限のみ]
	16		試験

評 価 方 法：①授業参加 10% ※参加態度、授業での発言なども考慮、②リアクションペーパー 60%、
③期末試験 (定期試験期間中) 30%。

教 科 書：各講義で配布する資料を主教材とする。

参 考 図 書：中央職業能力開発協会 (編)、社会保険研究所 (発売元)『ロジスティクス管理 3 級 第 3 版』『ロジスティクス・オペレーション 3 級 第 3 版』をサブテキストとする。

履 修 に あ た っ て：変則日程 (隔週水曜、2 コマ連続) なので注意すること。

授業の予習、復習のみならず、中央職業能力開発協会が実施する 3 級の試験にも、是非挑戦してください。

健康・スポーツマネジメント論Ⅰ *Health・sport management1*

2 単位

大 学 名	兵庫県立大学	担 当 教 員 氏 名	松村 浩貴 教授
開 講 期 間	前期 (4/13 ～ 7/20)	開 講 曜 日・時 間	木曜日 16:20 ～ 17:50
対 象 学 年	2 年次以上	募 集 人 員	50 名程度

科 目 内 容	健康・スポーツマネジメント論Ⅰでは、スポーツ産業をビジネス的な側面から考えていく。スポーツというヒトが生活していく上で必ずしも必要でないものを扱った業界が、どのように発展していったのか、そのためにどのようなマネジメントがなされていったのかを知ることを目的とする。	
	各回内容	
	1	ガイダンス
	2	スポーツ用品産業 (1): 各ブランドの歴史と経営戦略 1
	3	スポーツ用品産業 (2): 各ブランドの歴史と経営戦略 2
	4	スポーツ用品産業 (3): 消費者行動 1 「購買決定プロセス」
	5	スポーツ用品産業 (4): 消費者行動 2 「ブランドマーケティング」 + (小テスト 1)
	6	スポーツツーリズム (1): 地域観光戦略、スポーツツーリズムとは
	7	スポーツツーリズム (2): スポーツイベントツーリズムとアウトドアツーリズム
	8	オリンピック (1): オリンピックの歴史と財源
	9	オリンピック (2): プロとアマ、オリンピックの問題点とこれから
	10	スポーツスポンサーシップ (1): スポンサーシップの種類と効果
	11	スポーツスポンサーシップ (2): スポンサーシップのこれから + (小テスト 2)
	12	プロスポーツ (1): 北米のプロスポーツリーグマネジメント
	13	プロスポーツ (2): 欧州のプロスポーツリーグマネジメント、Jリーグ
	14	プロスポーツ (3): チームマネジメント、集客力を上げるには
	15	プロスポーツ (4): 地域密着、社会貢献活動 + (小テスト 3)

評 価 方 法: 数回の小テスト 80%。最終レポート 20%。

教 科 書: 指定しない。

参 考 図 書: 講義内で紹介する。

履 修 に あ た っ て: 毎回授業に出席することはもちろんのこと、各回の復習を徹底するとともに積極的な授業態度を望む。

コンピュータネットワーク *Computer Network*

2 単位

大 学 名	兵庫県立大学	担 当 教 員 氏 名	古隅 弘樹 准教授
開 講 期 間	後期（講義日程は兵庫県立大学の学年暦による）	開 講 曜 日・時 間	火曜日 16:20～17:50
対 象 学 年	3 年次以上	募 集 人 員	30 名程度

科 目 内 容	コンピュータや情報通信に関する技術の発展の歴史を概観し、情報通信のしくみの理解を通じて、コンピュータネットワークに関する基礎知識を習得する。その上で情報社会におけるセキュリティリスクとその対応についても学ぶ。		
	各回内容		
	1	ガイダンス・コンピュータ概説	
	2	通信の歴史、情報ネットワーク概説	
	3	インターネットの歴史	
	4	ネットワークの概要	
	5	データ通信のしくみ (1)	
	6	データ通信のしくみ (2)	
	7	ネットワークサービスとサーバの役割 (1)	
	8	ネットワークサービスとサーバの役割 (2)	
	9	ファイアウォール	
	10	暗号	
	11	ネットワークの保守	
	12	マルウェア	
	13	セキュリティリスク (1)	
	14	セキュリティリスク (2)	
	15	組織におけるセキュリティ管理	
	16	試験	

評 価 方 法：受講態度や提出物による平常評価 (20～30%)、および試験 (70～80%) により評価する。

教 科 書：指定しない。講義資料を配付する。

参 考 図 書：高田延彦・南俊博『情報ネットワーク教科書』東京電機大学出版局 (2013 年)
 大塚裕幸 (監修)『基本からわかる 情報通信ネットワーク講義ノート』オーム社 (2016 年)
 情報処理推進機構 (IPA) 編『情報セキュリティ読本 六訂版：IT 時代の危機管理入門』実教出版 (2022 年)
 その他、適宜紹介する。

履 修 に あ た っ て：情報科学概論など、情報関連の入門科目を履修済みであることが望ましい。

大 学 名	兵庫県立大学	担 当 教 員 氏 名	濱田 洋 准教授
開 講 期 間	後期 (10/1 ～ 2/7)	開 講 曜 日・時 間	水曜日 10：40 ～ 12：10
対 象 学 年	2 年次以上	募 集 人 員	100 名程度

科 目 内 容	本講義の目的は働くときに必要な労働法制の基礎知識を学び、労働関係法令を知らないことによるトラブルの発生を未然に防止する。また企業や社会の現状と、それらに対応した労働行政の取組を紹介することにより、就職の際の企業選択やその後のキャリア形成を支援する。具体的な労働法制の基礎知識を身につけるとともに、企業や社会の現状等についての理解を深めることにより、幅広い視点から企業選択や自身のキャリア形成を考えることができるようにする。		
	各回内容		
	1	労働法制度と労働行政の課題について	
	2	働く人の命と健康 (災害防止の歴史と現在の行政)	
	3	知っておきたい労働基準法の基礎知識	
	4	過労死と労働時間	
	5	災害調査最前線 (労働災害の真相を究明)	
	6	男女ともに働きやすい雇用環境の実現 (女性の活躍推進等)	
	7	男女ともに働きやすい雇用環境の実現 (仕事と家庭との両立)	
	8	雇用形態に関わらない公正な待遇	
	9	若者の雇用、就活とキャリア形成①	
	10	若者の雇用、就活とキャリア形成②	
	11	高齢者、障害者や外国人の雇用	
	12	若者の雇用、就活とキャリア形成③	
	13	働く人のセーフティネット	
	14	労働基準監督署業務の実際	
	15	ハローワーク業務の実際	

*本講義は厚生労働省兵庫労働局による寄附講義であり、実際の提供予定等は変更の可能性がある。

評 価 方 法：各回講義後のリアクションペーパー 60%(理解度、考察力)、期末試験 40% を基準として、受講態度 (積極的な質問等) を含めて総合的に評価する。

教 科 書：配布レジュメ。

参 考 図 書：なし。

履 修 に あ た っ て：本講義は労働行政の実務に従事する兵庫労働局の職員が、働くときに必要な労働法制の基礎知識や企業・社会の現状、労働行政の役割等についてわかりやすく説明し、幅広い視野での職業選択やその後のキャリア形成を支援する内容です。履修前提となる科目は想定していません。

大 学 名	兵庫県立大学	担 当 教 員 氏 名	濱田 洋 准教授
開 講 期 間	後期 (10/1 ~ 2/7)	開 講 曜 日・時 間	水曜日 14:40 ~ 16:10 【オンデマンド講義と対面の併用】
対 象 学 年	2 年次以上	募 集 人 員	100 名程度

科 目 内 容	関税政策・税関行政の現場(実務)を学ぶことにより、受講生が我が国の貿易・経済に関する今後の方向性を主体的に考える契機となることを目標にしています。	
	具体的には貿易の健全な発展と安全な社会の実現に向けた我が国の関税政策・税関行政の取り組み及び神戸港の現状について講義を行うとともに、EPA(経済連携協定)などの外部環境の変化に応じた行政の対応手法例を学びます。本講義は、租税に関するトピックを取り上げ、詳細について学び、知見の向上を意図しており、今期は、神戸税関の協力を受け、実務精通者による講義を実施します。国際貿易に関する租税制度、関税、消費税を中心に学び、関税政策、関連する税関行政の具体的な取り組みについて学ぶことを目的としています。	
	講義の提供方法は、対面講義とオンデマンド方式【GoogleClassroom 利用】の併用を予定しています【変更の可能性あり】	
	各回内容	
	1	イントロダクション-関税・税関を取り巻く環境-
	2	関税とは何か-関税の仕組み-
	3	神戸港の歴史と現在の神戸港
	4	国家成長戦略における税関の役割
	5	関税をめぐる国際的な動向(日)(GATT、WTO)
	6	関税をめぐる国際的な動向(月)(TPP、EPA)
	7	税関行政 1(適正かつ公平な関税等の徴収)-国際物流・経済活動の関所-
	8	税関行政 2(適正かつ公平な関税等の徴収)-課税価格の決定と品目分類-
	9	税関行政 3(適正かつ公平な関税等の徴収)-輸入貨物の適用税率-
	10	税関行政 4(安全・安心な社会の実現)-知的財産権の保護における税関の役割-
	11	税関行政 5(安全・安心な社会の実現)-税関における水際取締最前線①-
	12	税関行政 6(安全・安心な社会の実現)-税関における水際取締最前線②-
	13	税関行政 7(貿易の円滑化)-国際物流のセキュリティ強化と貿易円滑化の両立/(水際における国民の安全・安心の確保)-環境問題等への対応-
	14	貿易統計(全国及び神戸港の貿易動向)
	15	関税技術協力事業
	16	期末試験(到達度の確認)

* 本講義は財務省神戸税関により寄附講義であり、提供元の事情により内容等は変更の可能性がります。

評 価 方 法：学期末の試験(40%)と毎講義後のリアクションペーパー(60%)を基準として、受講態度(積極的な質問等)を含めて総合的に評価する。

教 科 書：配布するレジュメ。

参 考 図 書：なし。

履 修 に あ た っ て：講義の準備・復習の際には、税関ホームページ(<http://www.customs.go.jp>)を閲覧することで、より理解が深まります。また、講義で説明したポイントは非常に重要なのでしっかりと復習をしてください。なお、本講義では、履修の前提となるような講義は特に想定していません。

税関、関税に関する所掌を有する財務省の協力を受け、講義を実施するものであり、公務員や国際貿易に関する職務に興味関心を有する学生に関しては将来のキャリアを考える上で、有益な機会となるものと考えられる。

大 学 名	流通科学大学	担 当 教 員 氏 名	内田 遼介 准教授
開 講 期 間	前期 (4/11 ～ 8/1)	開 講 曜 日・時 間	火曜日 10:40 ～ 12:10
対 象 学 年	2 年次以上	募 集 人 員	150 名程度

科 目 内 容	スポーツ心理学は、スポーツ場面で観察される人間行動を、主に心理学の研究手法を用いて探求する学問である。本講義では、最初にスポーツ心理学の歴史や研究対象、研究方法について説明する。これによりスポーツ心理学とはどのような学問なのか理解する。その後、スポーツにおける動機づけやスポーツの社会心理、運動の学習と指導など、個別のトピックに焦点化して説明する。最終的に、スポーツの活動場面や指導場面において、スポーツ心理学の知識を活かせるようになることを目指す。		
	各回内容		
	1	授業ガイダンス、イントロダクション：スポーツ心理学の歴史、研究方法、研究対象	
	2	スポーツにおける動機づけ (1)：動機づけとは？、動機づけにかかわる諸理論 (原因帰属)	
	3	スポーツにおける動機づけ (2)：動機づけにかかわる諸理論 (自己効力感、達成目標理論、自己決定理論)	
	4	スポーツの社会心理 (1)：集団過程にかかわる諸理論 (集合的効力感、集団凝集性)、リーダーシップ	
	5	スポーツの社会心理 (2)：アスリートの心理的世界 (あがる心理、バーンアウト)	
	6	スポーツの社会心理 (3)：トップアスリートに対する心理的サポート	
	7	運動の心理的効果、運動の継続・中止に関わる理論 (合理的行為理論、トランスセオレティカルモデル)	
	8	前半の総括、理解度確認テスト (1)	
	9	運動の学習と指導 (1)：運動プログラムの獲得、学習はどのように進行するか？	
	10	運動の学習と指導 (2)：全体練習と部分練習、集中練習と分散練習	
	11	運動の学習と指導 (3)：一定練習と変動練習、ランダム練習とブロック練習	
	12	運動の学習と指導 (4)：注意と運動学習	
	13	メンタルトレーニング (1)：メンタルトレーニング小史、アスリート版心理テスト、チームビルディング	
	14	メンタルトレーニング (2)：リラクセーション技法、イメージ技法がもたらす効果	
	15	後半の総括、理解度確認テスト (2)	

評 価 方 法：・各回の講義終了後に提示する課題 (50%)
・第 8 週目の理解度確認テスト① (25%)
・第 15 週目の理解度確認テスト② (25%)

教 科 書：中込四郎・伊藤豊彦・山本裕二 (編著) (2012). よくわかるスポーツ心理学 ミネルヴァ書房

参 考 図 書：シュミット, R.A. 調枝孝治 (監訳) (1994). 運動学習とパフォーマンス 大修館書店

履 修 に あ た っ て：授業の進め方や内容については社会情勢や受講生の理解度に応じて変更する場合があります。

大 学 名	流通科学大学	担 当 教 員 氏 名	小笠原 宏 教授
開 講 期 間	前期	開 講 曜 日・時 間	火曜日 13:00 ~ 14:30
対 象 学 年	3 年次以上	募 集 人 員	10 名程度

科 目 内 容	より実り多い経済生活のためにも個人(家計)の資産運用の必要性は高まっている。合理的な「投資行動」のためには金融証券市場を念頭において、何に投資をするべきか考察し決断するための分析力と決断力を養うことが重要である。しかし各種金融商品は複雑かつ多様化しており、その中での「最適」選択は難しい。それ故に、効率的な資金運用(投資)を実践するために参考にすべき理論及び手法を学ぶ。高度化し、複雑化した金融商品及び、金融市場の現状と動向をタイムリーな事件、ニュースとからめて解説していく。投資家目線での金融理論、ファイナンス理論を分かり易く解説する。多様な視点も考慮に入れて資産投資運用を自ら行えるようになることを目指す。多様なリスクの現実的な把握と対処法について議論、解説する。 合理的な「投資行動」を自ら考えて実行するために役立つ金融証券市場の知識、リスク概念など学び習得したうえで、何に投資をするべきか考察し決断するための分析力と決断力を醸成する。リスクをどうマネージするかも考える。具体的にリスクの把握と設定、そしてそれに対する意識を高めることを目指す。投資家マインドを理解するように努めることにより、実践的な行動力と決断力が発揮されると期待する。 講義内で授業理解度、進捗に応じて1～2のドリル(実験)を行う予定であり、実施の場合は、その結果を簡単なレポートにする(A4用紙1枚程度)予定。	
	各回内容	
	1	投資と投機の違い・消費行動と投資行動の違い。投資の奥義伝授(「投資」行動の理論と実践)
	2	
	3	リスクの概念。リスクプロファイルの考察。(リスクとは何か)
	4	
	5	金融市場の基本的理解。金融機関とのつきあい方。
	6	
	7	証券市場の基本的役割。証券会社とのつきあい方。
	8	
	9	保険の仕組みと市場 宝くじの仕組み 等
	10	
	11	ポートフォリオ理論の基本(分散投資)
	12	
	13	不動産投資や無形資産投資 暗号資産(仮想通貨など)とは何か。
	14	
15	高度な金融派生市場の役割(デリバティブ、FX、CDSなど)。フィンテックについて他。	

講義途上における受講生からの積極的な質問や提案を求める。
それらを積極的に取り上げながら講義を進める予定。

評 価 方 法 : コロナ禍緊急対応として、最終試験代わりに、レポート課題になる可能性も考慮。
試験実施の場合は、試験 60% + 授業出席(オンデマンド視聴とメールなどで集計把握)30% + 課題関係提出など(10%)程度で総合評価。

教 科 書 : 特に指定しない。参考資料などはこちらから適宜配布あるいは講義内で示す。

参 考 図 書 : 講義内で参照および随時示す。

履 修 に あ た っ て : 金融、株式市場並びに投資に興味を持つようにほしい。日々の金融はじめ経済ニュースに興味をもって欲しい。不明な言葉などは、ネットでかまわないので、自分で調べてみることを強く推奨。その上で質問して欲しい。「価値を増やすという意味での」投資につながるな情報に敏感になること。定番定説的なことを説明するような講義でなく、ここでしか聞けない中身の講義をする予定。新しい視点、アプローチを啓蒙するような講義を目指す。教員相互間の双方向の連携という意味から、メールによるコメントや質問など、授業参加度などがあれば加点考慮するので積極的に授業参加してほしい。投資関係の書籍ほかネット記事など自分が興味あるものはどんどん参考にして欲しい。コメントなどは内容的に有用なものは、講義内でも取り上げて補足および解説するので、積極的参加の姿勢を受講生は持ってほしい。

大 学 名	流通科学大学	担 当 教 員 氏 名	中山 一郎 教授
開 講 期 間	前期 (4/14 ～ 7/28)	開 講 曜 日 ・ 時 間	金曜日 16:20 ～ 17:50
対 象 学 年	2 年次以上	募 集 人 員	50 名程度

科 目 内 容	「職業」「業界」「企業」「職種」という視点やキーワードから社会を展望・理解し、来るべき就職活動で必要とされる基本的な知識や情報を身につける。		
	各回内容		
	1	プロローグ～キャリア基礎論とは～	
	2	大学での学びとキャリア形成	
	3	2 年生から知っておきたい就職活動	
	4	職業ってナニ、会社ってナニ！？	
	5	「出会い」を「出逢い」に変えるコミュニケーション術	
	6	働き方研究①～人生一度、厚かましく謙虚に～	
	7	働き方研究②～機能的サービスと情緒的サービス～	
	8	働き方研究③～社会人 1 年目の現場～	
	9	仕事研究①～営業という仕事～	
	10	仕事研究②～販売という仕事～	
	11	仕事研究③～企画という仕事～	
	12	社会で求められる基礎能力①～ SPI 適正検査対策～	
	13	社会で求められる基礎能力②～ SPI 適正検査対策～	
	14	資格と就職について考える	
	15	エピローグ～改めて、キャリア基礎論とは～	

評 価 方 法：リアクションペーパー (75%)、課題レポート (10%)、平常点 (15%)。

教 科 書：中山一郎著『エピソードの就活－キャリアカウンセラーが教える 7 つのステップ－』（晃洋書房、2017 年）。

参 考 図 書：講義内で紹介する。

履 修 に あ た っ て：毎回の講義に出席すること。特に第 1 回目は授業概要や成績評価について説明するので必ず出席すること。

講義は遅刻しないように入室し、私語や居眠りなど他の受講生への迷惑行為は慎むこと。

大 学 名	流通科学大学	担 当 教 員 氏 名	前川 明 准教授
開 講 期 間	後期 (9/27 ~ 1/17)	開 講 曜 日・時 間	水曜日 9:00 ~ 10:30
対 象 学 年	3 年次のみ	募 集 人 員	100 名程度

科 目 内 容	本科目の到達目標は、「なぜ働くのか」「あなたの強み」「あなたにとってよい会社の条件」の問いに、しっかりとした考え方を身につけることである。その上で自己 PR の作成方法と会社選びの基準づくりを学び、総合的な就職力を高めていくことにある。 ・ SPI 等の筆記試験対策で得意、不得意な分野を自己評価する。 ・ 自分の強さ・弱さの分析から自己 PR をまとめる。 ・ 業界企業を分析し、自己 PR と志望動機につなげていく。 ・ 就職力を高め、自分の立てた目標設定と就職戦略を策定する。		
	各回内容		
	1	イントロダクション：就職環境の現状と課題	
	2	働くことの意味	
	3	社会・企業を取り巻く環境	
	4	業界研究・企業研究	
	5	企業研究・仕事研究	
	6	自己分析①	
	7	筆記試験①	
	8	筆記試験②	
	9	自己分析②	
	10	エントリーシート・履歴書	
	11	グループディスカッション	
	12	面接①	
	13	面接②	
	14	就職活動の戦略の立て方	
	15	まとめ	

評 価 方 法：毎回の授業で記入するミニレポート (45 点)
最終レポート (35 点)
提出課題 (宿題) 点 (10 点)
授業内での小テスト (10 点)

教 科 書：必要に応じて資料を配布する。

参 考 図 書：授業内容に合った最新の書籍を随時案内する。

履 修 に あ た っ て：この授業はいずれ社会に出て行くための練習の場でもあるため、社会生活を送る上で必要なルールやマナー (時間を守る、私語を慎む等) を守ること。
3 年生から 4 年生にかけて、就職活動のピークを迎えますので、日頃から新聞等で社会全般についての情報に関心を持つこと。

大 学 名	流通科学大学	担 当 教 員 氏 名	竹内 信行 准教授
開 講 期 間	後期 (9/21 ~ 1/25)	開 講 曜 日・時 間	木曜日 13:00 ~ 14:30
対 象 学 年	2 年次以上	募 集 人 員	130 名程度

科 目 内 容	経済のグローバル化が進展している中、私たちの生活は「国際経済」と切り離して考えることができません。例えば、身の回りの商品の多くが輸入品であったり、急激な円安によって海外ブランド商品が買いづらくなったり、というように私たちの身のまわりには「国際経済」に関する現象が数多く潜んでいます。本講義では、こうした現象を正しく理解するために「なぜ貿易をするのか?」「貿易黒字・赤字の意味とは?」「貿易政策の効果とは?」といった国際経済学の基礎を解説していきます。 取り扱う内容の多くはミクロ経済学やマクロ経済学の知識を基にしており複雑で難解な面もありますが、丁寧な解説を心がけ、楽しく学んでいけることを目標にします。		
	各回内容		
	1	国際経済と日本 –イントロダクション–	
	2	マクロ経済学入門 (1) 経済循環図とマクロ経済	
	3	マクロ経済学入門 (2) 三面等価の原則と IS バランス	
	4	貿易黒字 / 赤字のさまざまな見方	
	5	貿易収支と為替レート・物価・交易条件	
	6	国際貿易論入門 (1) 何を輸出して、何を輸入するのか? –絶対優位説と比較優位説–	
	7	国際貿易論入門 (2) 比較優位説 (続き)	
	8	国際貿易論入門 (3) 比較優位説の応用	
	9	貿易政策入門 (1) さまざまな貿易政策と分析の準備 (需要曲線と消費者余剰)	
	10	貿易政策入門 (2) さまざまな貿易政策と分析の準備 (供給曲線と生産者余剰)	
	11	貿易政策入門 (3) 関税と輸入割当の効果	
	12	貿易政策入門 (4) 生産補助金の効果	
	13	貿易政策入門 (5) 貿易政策のまとめ	
	14	産業内貿易	
	15	貿易と経済発展	

評 価 方 法：平常点 (40%) および期末試験 (60%) で評価する

教 科 書：ハンドアウトを配布するため、教科書は特に必要ありません。

しかしハンドアウトだけでは不安な方は、下記にあげる参考図書の中から自分にあったものを用意してください。

参 考 図 書：石川城太，椋寛，菊地徹『国際経済学をつかむ 第2版』有斐閣，2013 年
伊藤元重『ゼミナール国際経済入門 (改訂3版)』日本経済新聞社，2005 年
澤田康幸『基礎コース 国際経済学』新世社，2004 年

履 修 に あ た っ て：・「パッと聞いて分かる」というよりは「じっくり考えてから分かる」ことが多い学問です。そのため、講義内容の理解には「根気」と「努力」が必要になります。

- ・履修にあたり経済学の子備知識をほとんど必要としません。一方、そのためにミクロ経済学・マクロ経済学の復習の時間が長くなりますが、あらかじめご了承ください。
- ・講義の内容上、数式や図表を用いることがあります。それにともなって必要となる数学については適宜、説明を行います。
- ・講義予定の消化より受講生の理解を優先するため、上記の講義計画に対して進度が大幅に遅れたり内容を一部変更したりする可能性があります。

経営学入門 *Introduction to Business Administration*

2 単位

大 学 名	流通科学大学	担 当 教 員 氏 名	今西 珠美 教授
開 講 期 間	後期 (9/22 ～ 1/12)	開 講 曜 日・時 間	金曜日 9:00 ～ 10:40
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	10 名程度

科 目 内 容	経営学の基礎知識と主要理論を広く学びます。経営学の対象と学問体系を理解し、研究領域ごとに事例を通じて基礎的な知識とその領域を代表する理論を学びます。	
	各回内容	
	1	企業経営の全体像
	2	経営学の全体像
	3	企業と会社
	4	企業とインプット市場との関わり
	5	企業とアウトプット市場との関わり
	6	競争戦略のマネジメント (Part.1): 基本的な考え方
	7	競争戦略のマネジメント (Part.2): 違いを作る 3 つの基本戦略と仕組みの競争
	8	多角化戦略のマネジメント
	9	国際化のマネジメント
	10	マクロ組織のマネジメント
	11	ミクロ組織のマネジメント
	12	キャリアデザイン
	13	経営学の広がり (Part.1): ファミリービジネスのマネジメント
	14	経営学の広がり (Part.2): 病院組織のマネジメント
	15	経営学入門総括

評 価 方 法 : 学習成果 (理解度) と学習意欲を評価します。

定期試験および提出課題の内容、理解度、取り組む姿勢を評価します。

定期試験 (60%)、提出課題 (30%)、学習意欲・学習態度 (10%) を予定しています。

教 科 書 : 加護野忠男・吉村典久編『1 からの経営学 (第 3 版)』碩学舎 (中央経済社)、2021 年。

参 考 図 書 : 伊丹敬之・加護野忠男『ゼミナール 経営学入門 (第 3 版)』日本経済新聞出版、2003 年。

東北大学経営学グループ『ケースに学ぶ経営学 (第 3 版)』有斐閣 (有斐閣ブックス)、2019 年。

高橋伸夫編『よくわかる経営管理 (やわらかアカデミズム・〈わかる〉シリーズ)』ミネルヴァ書房、2011 年。

履 修 に あ た っ て : 教科書に沿って授業を進めます。受講時には手元にあるようにしてください。

大 学 名	神戸市立工業高等専門学校	担 当 教 員 氏 名	鳥居 宣之 教授、宇野 宏司 教授
開 講 期 間	前期	開 講 曜 日・時 間	未定
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	20 名程度

科 目 内 容	我が国は様々な自然的・社会的条件から災害が発生しやすい環境下に置かれている。特に、人口・資産が集積した都市においてひとたび大規模な災害が発生した場合には、人的にも物的にも甚大な被害が発生することが予測される。本講義では、都市を災害から守るための取り組み方とその変遷について学習する。		
	各回内容		
	1	近年の我が国における自然災害	
	2	我が国における都市防災対策とその変遷	
	3	災害気象学 (1)	
	4	災害気象学 (2)	
	5	神戸市域で発生した風水害	
	6	地震の基礎知識	
	7	神戸市域で発生した地震災害	
	8	中間試験	
	9	中間試験の解説，災害と危機管理	
	10	企業防災・地域防災	
	11	災害情報 (1)	
	12	災害情報 (2)	
	13	災害情報 (3)	
	14	災害情報 (4)	
	15	「我が家の防災マップ」報告会	

評 価 方 法：成績は、試験 70%、レポート 25%、プレゼンテーション 5%、として評価する。試験成績は 2 回の試験（中間試験・定期試験）の平均点とする。

教 科 書：講義時に適宜配布する講義資料。

参 考 図 書：「防災工学」：石井一郎編（森北出版）
「地震・高潮・山崩れ－自然災害入門」：塩田修（新風舎）
「これからの防災・減災がわかる本」：河田恵昭（岩波ジュニア新書）
「暮らしと自然災害」：後藤 恵之輔ほか（電気書院）
「都市と防災」：目黒公郎，村尾修（放送大学教育振興会）

履 修 に あ た っ て：レポート課題は、提出期限を厳守すること（提出遅れは、原則、評価対象外）。
出席回数 2/3 以上の者に対して成績を評価する。

フィールドロボティクス論 *Theory of Field Robotics*

2 単位

大 学 名	神戸市立工業高等専門学校	担 当 教 員 氏 名	小澤 正宜 准教授
開 講 期 間	前期	開 講 曜 日・時 間	未定
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	20 名程度

科 目 内 容	ロボットを実環境で使用するために必要となる知識、理論を学習する。		
	各回内容		
	1	ガイダンス、フィールドロボティクスの概要	
	2	ロボットの使用環境	
	3	ロボットの計測・採取対象 1	
	4	ロボットの計測・採取対象 2	
	5	ロボットの機械的強度	
	6	ロボットの推進力	
	7	機械材料の種類	
	8	機械材料の特性	
	9	電力源の種類と特性	
	10	電気部品の配置と電磁的干渉	
	11	現代制御理論の導入	
	12	状態方程式の立式 1	
	13	状態方程式の立式 2	
	14	総合演習 1	
	15	総合演習 2	

評 価 方 法：定期試験 (85%) およびレポート (15%) で評価する。

教 科 書：指定しない。

参 考 図 書：講義内で紹介する。

履 修 に あ た っ て：初回の出席者で授業の実施方針を決めるので必ず出席すること。

大 学 名	神戸市立工業高等専門学校	担 当 教 員 氏 名	宮下 芳太郎 教授
開 講 期 間	前期	開 講 曜 日・時 間	未定
対 象 学 年	2 年次以上	募 集 人 員	20 名程度

科 目 内 容	現在では 118 種類に及ぶ元素の性質は原子番号とともに周期的に変化し、これをまとめたものが元素の周期表である。本講義では、元素の発見あるいは合成の歴史について触れるとともに、主に無機化学の立場から単体及び化合物の各論を周期表と関連づけて紹介する。	
	各回内容	
	1	元素の発見と周期表
	2	水素原子の構造
	3	素粒子と複合粒子
	4	化学進化
	5	放射性同位体
	6	周期表の歴史
	7	物性の周期性
	8	水素分子の性質
	9	s-ブロック元素各論
	10	p-ブロック元素各論 (1)
	11	p-ブロック元素各論 (2)
	12	d-ブロック元素各論 (1)
	13	d-ブロック元素各論 (2)
	14	f-ブロック元素各論
	15	超重元素と未発見元素

評 価 方 法：レポート (30%) 及び期末試験 (70%) で評価する。

教 科 書：「新・元素と周期律」：井口洋夫・井口眞 共著 (裳華房)

参 考 図 書：講義内で紹介する。

履 修 に あ た っ て：高等学校において、化学及び物理を履修していることが望ましい。

大 学 名	神戸市立工業高等専門学校	担 当 教 員 氏 名	尾山 匡浩 准教授
開 講 期 間	後期	開 講 曜 日・時 間	未定
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	10 名程度

科 目 内 容	アルゴリズムに関する知識は問題ごとに個別的なものであり、何か統一的な原理があつてそれですべてが解決するというものではない。しかし、代表的な優れたアルゴリズムを理解することにより、アルゴリズム設計のかんどころというものが習得できるはずである。この科目では、特定の応用分野に限定されない一般的なアルゴリズムについて、それを実現するためのデータ構造とともに解説する。授業は輪講形式で行い、プログラム演習を取り入れることでその理解を深める。	
	各回内容	
	1	アルゴリズムと計算量
	2	探索 (線形探索・2分探索)
	3	探索 (2分探索木)
	4	探索 (平衡木・B 木)
	5	探索 (ハッシュ法)
	6	整列 (選択法・挿入法・シェルソート)
	7	整列 (クイックソート)
	8	整列 (ヒープソート)
	9	整列 (マージソート)
	10	グラフ (グラフの表現と探索)
	11	グラフ (各種連結性の判定)
	12	グラフ (最短路の問題)
	13	文字列のアルゴリズム
	14	難しい問題 (バックトラック法)
	15	まとめ

評 価 方 法：成績は、試験 70%、演習課題 (輪講資料含む) 30% として評価する。
 なお、試験には課題レポートに関する設問を含む。

教 科 書：「アルゴリズムとデータ構造」石畑清著 (岩波書店)

参 考 図 書：別に指示する。

履 修 に あ た っ て：手続き型言語を用いたプログラミングの経験があること。
 配列、関数、ポインタ等の基礎は理解できていること。

大 学 名	神戸市看護大学	担 当 教 員 氏 名	藤代 節 教授
開 講 期 間	前期 (前半)	開 講 曜 日 ・ 時 間	火曜日 13 : 10 ~ 14 : 40
対 象 学 年	全学年	募 集 人 員	(本学学生を入れて)100 名程度

科 目 内 容	神戸について多角的に学ぶ授業です。歴史、建築、映画、文学、ファッション、ことば、国際交流、観光、自然等々から毎年いくつかのテーマを選び、各分野の第一人者を講師として迎え、様々な観点から「神戸」を学びます。2023 年度にお迎えする講師の方は以下の先生方です。 各回お一人の講師をお迎えします。講義の順は変更される可能性があります。詳しいスケジュールは、初回のオリエンテーション時に配付します。第 1 回目にはレポート課題の説明もしますので、必ず出席して下さい。		
	各回内容		
	1	「神戸の風土と文化から」 田辺 真人 (県立兵庫津ミュージアム名誉館長、園田学園女子大学名誉教授)	
	2	「神戸と手塚治虫」 谷口 義子 (神戸学院大学非常勤講師)	
	3	「神戸のことばと文学」 藤代 節 (神戸市看護大学教授)	
	4	「有馬温泉を語る」 金井 啓修 (御所坊社長)	
	5	「神戸の映画と観光・集客産業」 松下 麻理 (神戸フィルムオフィス代表)	
	6	「神戸のファッション」 見寺 貞子 (神戸芸術工科大学デザイン学科教授)	
	7	「ファミリア物語」 高木 應光 (NPO 神戸外国人居留地研究会事務局長)	
	8	「世界の目からみる神戸」 川越 栄子 (滋慶医療科学大学教授)	

評 価 方 法 : 提出物 (神戸の 1 箇所を訪れてレポートを提出する、他、40% 程度) と平常点 (60% 程度) による予定。

教 科 書 :

参 考 図 書 : 「神戸地域学-神戸の魅力再発見」 川越栄子編 大学教育出版 2013 年
「神戸の 150 年」 田辺真人監修 樹林舎 2017 年

履 修 に あ た っ て : 「神戸」について様々な角度から勉強してください。自分たちが学んでいる、住んでいる街についての理解を深めてください。きっと忘れられない街になるでしょう。